

個人事業主の経理・税務知識に関する調査

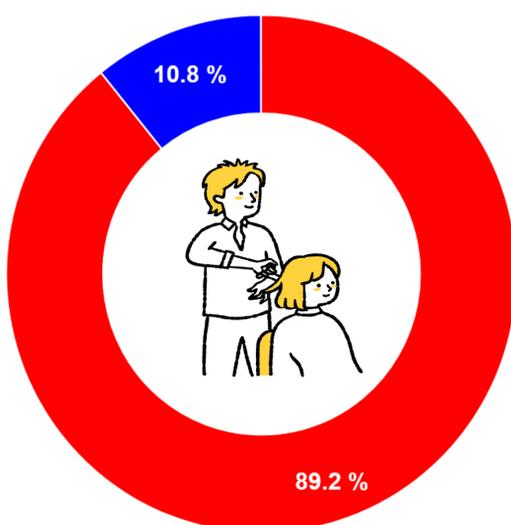
【実施期間】

2025年3月

経理・税務の知識の重要性

—あなたの業界では、経理・税務の知識が重要だと考えられていますか？

美容業



はい いいえ

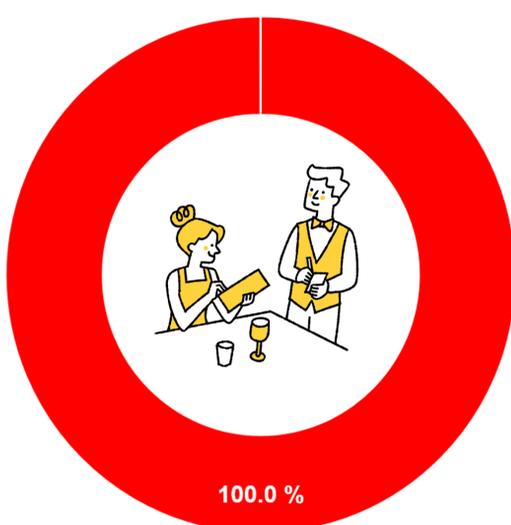
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 自店での財務管理について、ある程度把握する必要がある
- 知らないことで損することが多い
- ある程度したら、独立開業する人が多いので必要
- 数字を把握していないと経営はできない
- 仕事が忙しい環境ですが、必要な部分のため
- とても大事
- 経理や税務の知識が少しでもあれば、節税や無駄な経費などに気づく事ができる
- 経営者になって重要さに気づく
- 経理や税務わかっていないとコストの計算が出来ない
- 数字がわかっていないと経営がどうなってるかわからない
- 経理などの基礎知識はあったほうが全体を見れる
- どの業界でも税務、経理について詳しくて損な事は何もない
- 独立して、自分の店舗を持ったりフリーランスとして働く際に経理の知識は必要
- 知識がわかっていたほうが申告時に役立つ
- 助成金や節税などできることが多い
- 個人事業主になると知っておかないといけない情報が多いので、しっかり学んでおかないといけない
- 経費について知っていくことや財務を勉強してキャッシュをしっかりと残す
- 知識を持っておかないと売上と経費のバランスを作れない
- どういうしくみでいくら税金を支払うのか知っておく方が良い
- 節税の知識を理解しないとほんとに払う金額がとても高くなる
- 個人事業主とはいえ経営者なので、自社の経理や財務状況を把握するのにある程度知識は必要
- 事業を行っているのであれば経理、税務の知識は学ぶことは大切
- 最近は1人美容室が増えてきてある程度は自分でやらないといけない
- 経営数字を把握していないと、費用のバランスが取れないから必要
- どのくらい引かれてどの位残るかぐらいは把握していきたい
- 仕入れなどもある為、売り上げに合わないサービスや仕入れを避けるため
- 適切な申告をして節税をするために必要

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 税のことは仕事には関係ない
- 知らないことにメリットはないが、別の人やれば良い
- あった方が良いとは思いますが、重要度はそこまで高くはない
- そっち系のことは、税理士さんに任せている

飲食業

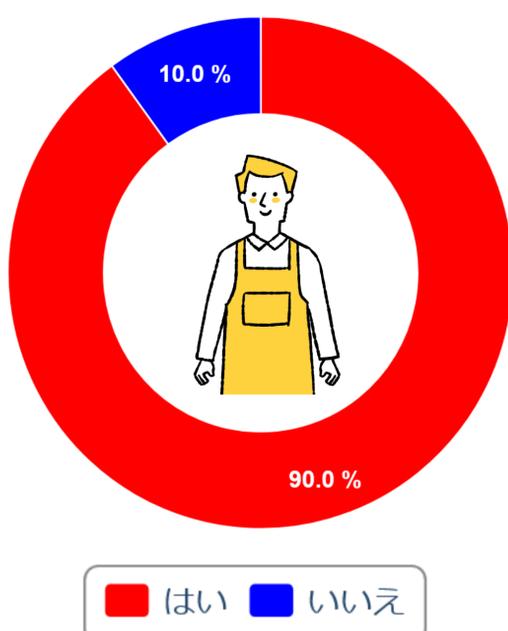


はい いいえ

【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 正確な会計処理と節税対策が経営に不可欠
- 毎年の様になる税制は理解するべき
- 経費計上出来る物と出来ないものがある

小売業



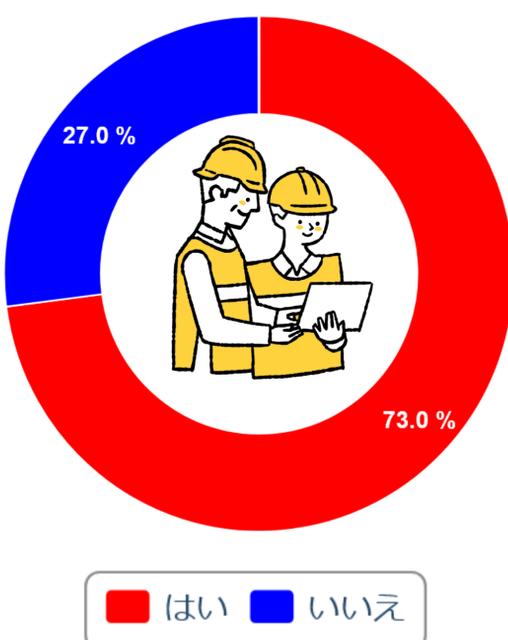
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 薄利多売の商売なので、経理管理が重要
- 税務の知識がなければ余計に税金を払うことになる
- 税務知識があると売り上げや税金も変わってくる
- 顧問税理士にお願いはしているが、ある程度の知識は必要
- 小規模事業者が多く、自らが経理、税務に関わらないといけないため
- フランチャイズとして個人で事業される方は基本的に自身のお店のお金の動きは把握が必要
- 税務の知識があれば申告も正確にでき、無駄に多く税金を払う必要がなくなる

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 税理士にすべてまかせているので必要ない

建設業



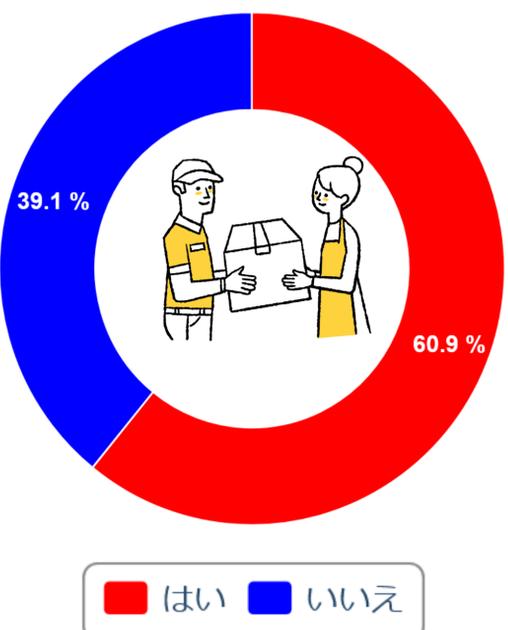
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- ちゃんと経費や控除などをまとめないと収める税金が高額になってしまう
- 個人事業主になって特に経理的な事とか事務的な事勉強しないとだめ
- 青色で確定申告する場合にはちゃんと経理しないといけない
- どの職種に問わず、ある程度は知識が必要
- お客様に対して、税務知識のアドバイスを行うことがある
- どの業界でもそうだと思いますが、税金で損はしたくない
- 業界というよりは個人事業主は経営者なので最低限の基礎知識は必須
- 経費を使う事が多い為、しっかりとやらないといけない
- これが経費で使える使えないがわかるだけでも1年通したら大きい金額になるため
- 個人事業主で顧問の税理士が居ないなら全て自分でする為
- 繁忙期と閑散期の収支バランスを効率よく管理し、資金繰りを安定させるため
- 法人だろうが、フリーランスも個人経営者は必要
- 経営において利益を最大限残しつつ、適切な節税もする為
- 税理士に頼まずに自分で確定申告出来るため
- 確定申告の時に大変だったので、すごく大事なことだと実感した
- 1人親方が多く、申告もそれぞれやってるから
- 分からないより分かっている方が問題が起きない
- 税制をしっかり理解していないと、自分自身を救うことが出来ない
- この業界というより個人事業主なら多少は必要
- どの業種でも経理、税理の知識は必要になる
- 節税の仕方を知らないと無駄に多く税金を払うことになる

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 今まで業務を行っていて今のところ必要と感じた事がない
- 作業の方が重要だから、他のことは専門の方に任せ方がよい
- 専門知識が必要で間違えてはならない為、専門家に依頼した方がよい
- 知らないよりは知っている方がよいとは思いますが、それほど重要ではない
- 現場仕事なので重要ではないが、個人事業主としては必要
- もちろん経理は大切ですが、技術や安全の方が重要
- 私の周りにそのような知識を活用している人がいない
- 知識があるに越したことはないと思うが直接影響はしない

運送業



はい いいえ

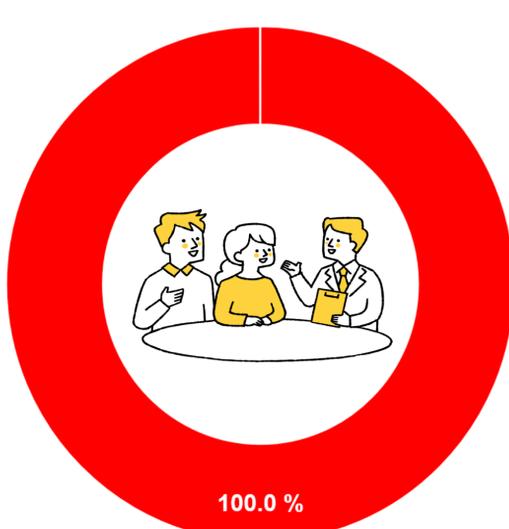
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 知識がないと払わずに済むものを払うことになる
- 確定申告で必要になるの経理、税務の知識は必要
- ガソリン代や車の修理費など経費でまかえる部分が多いので、経理などは大事
- いかにか経費削減するかが重要なので必要な知識
- 個人事業主、経営者であれば業界関係無しに知識は必要
- 確定申告をする際の最低限の知識は必要
- 配送業は1人です仕事なので全ての事務作業もしなくてはいけない
- 個人事業主で1人でやっているため少しは必要
- 節税対策など最低限の知識は必要
- 税務の知識がないと無駄な税金を払うことになる
- 個人事業主は業種に関わらず知識が必要
- 個人事業主である以上、経理などは必要不可欠

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 運転技術が一番必要なためあまり必要ではない
- 基本的に組合に入会するため組合で契約してる会計士がいるのと複雑な会計処理がないため
- 細かい税制などは考えず、とにかく働く必要がある
- 業務内容的に税の知識が必要になる場面がないから
- 売上げが元売りからの運賃のみで低収入だから

不動産業

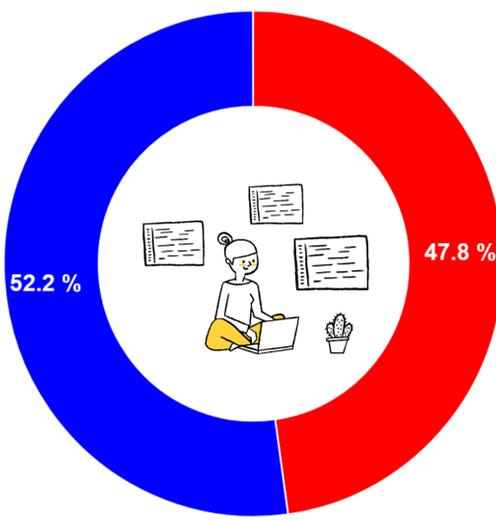


はい いいえ

【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 確定申告の際や日々の収支等を把握する
- 業務に関連した支出を経費扱いで処理できるか否かの知識が重要
- 不動産を扱うので、基礎知識としての税務知識や、ローン取扱もするので知識は必要
- 節税の必要性が大きく、またどの程度節税するかで売上げが大きく変わってくるから
- 節税対策を行うため、経理や税務の勉強が必要

WEBサービス業



はい いいえ

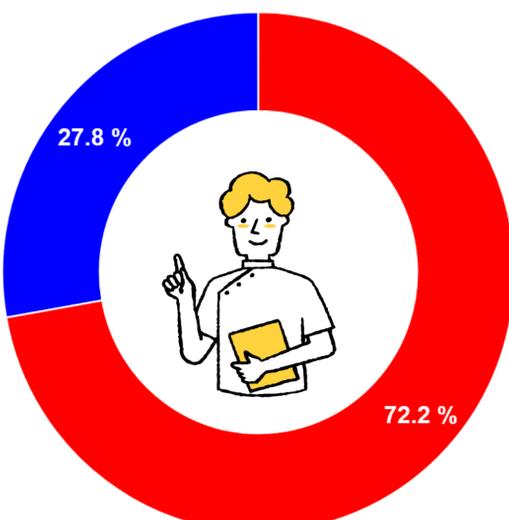
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 知っておいて損することはなく、知って得するや身を守れることが多い
- 業務上、損益など会計に紐づくことになるため
- ライターも文字起こしも個人事業主が圧倒的に多い業界
- 勤怠入力など金銭に関わる業務が含まれるため
- 個人事業主だから
- 税金の負担を軽減し、安定した事業運営に繋げるため
- 支払うべき税金の把握や、不必要に払い過ぎないための知識は必要
- 個人事業主になって経費とか確定申告、将来法人になる時の経理処理を知りたい
- 確定申告等で知識が必要なため、ある一定の知識は必要
- 報酬が業務委託や請負で支払われるため、確定申告や経費計上に関する知識が必須

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 税関系は業務とはかけ離れており、専門家に依頼した方が安全で結果的に効率が良い
- 特別経費がかかることもないため、重要度は低い
- 税金やお金の管理業務を行う機会が少ない
- 経理税務に関わるものが少なく複雑ではない
- ITの業界では必要に感じることはない
- 業務に直接関係ないため、他の知識を得たほうがよい
- エンジニアは主にシステム開発やプログラミングに従事し、経理や税務は専門外の業務
- 仕入れが必要ないので売上と人件費が主な科目
- 確定申告以外でそこまで重要ではない
- 特に税務・経理の知識がなくても仕事ができる業界

医療業・福祉業



はい いいえ

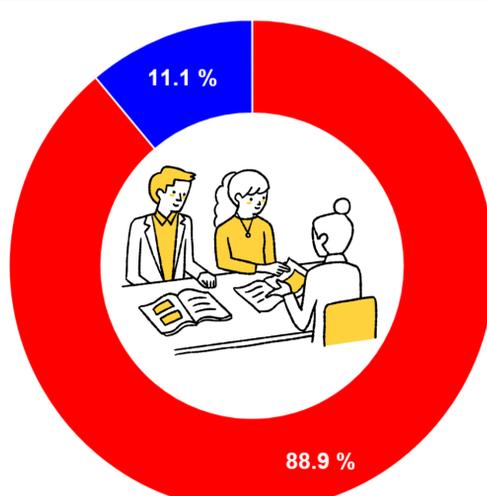
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- マッサージ業界に限らず税務などの知識は必要
- 確定申告の際に最低限の簿記知識を持っていないと正しい申告をすることができない
- 経営管理に必須
- どんな業種においても、ちゃんとした数値をだすのは必要
- 経理、税務の知識があれば、この支出は経費なのか違うのかなど税務上効率的な経営ができる
- 節税対策や色々知らない事が多いので、必須
- 実際のお金の流れを把握することができる

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 経理や税務に詳しくなったとしても、年商に大きく影響しない
- 開業医は必要だと思うが勤めている場合部署が異なるため不要
- 仕事の内容的には全く関係ない
- 全部税理士に任せているから必要性ない

専門家(士業・FP・コンサルなど)



■ はい ■ いいえ

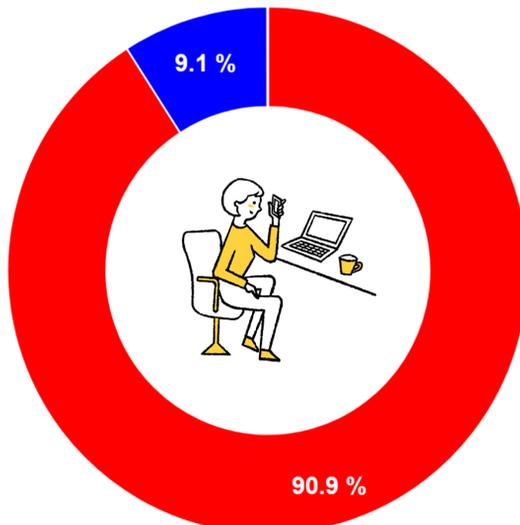
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 税金税務に絡んだ仕事をする事が多いので知識がないと進まない
- 青色申告を適正に行う上で、知識がないと確定申告ができない
- 節税といった観点でも知識が必要
- 科目を含めて税務申告処理及に關しての最低理解
- 会計事務所であり当然に業務上の知識として必要
- 生保をお薦めする中で相続税対策、その他諸々の税務知識が必要
- 確定申告や節税のために専門知識が必要
- 保険業ですので税務関係のある程度分かっていないと仕事にならない

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 特に仕事上でその知識を使うことはないですが、色々な知識を持っているべき

個人投資家



■ はい ■ いいえ

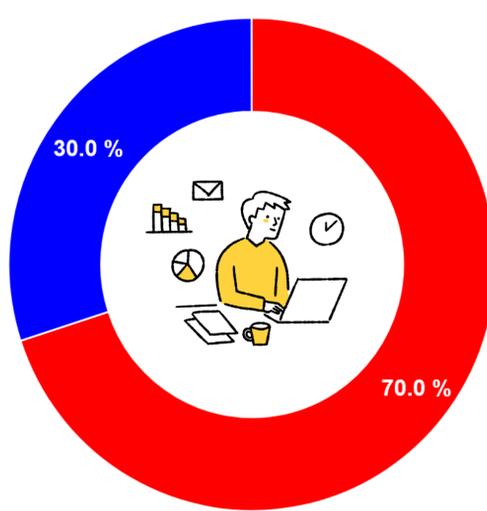
【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 経費等での節税もあるし、税金計算が複雑だから
- 税務規制が複雑で、適切な申告が必要
- 個人投資家として税制については市況に大きく関係する
- 暗号資産の税務は気づかぬうちに課税されてしまうことがある
- 株などの投資においてどれだけ税金がかかるかは必ず知らないといけない
- 経理税務について知識がないと、間違った確定申告で追徴課税されるような不都合が生じるから
- 暗号資産業界は新しい業界のため毎年税制の改正等があるため

【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 会計事務所がやってくれるのでわからなくても良い

その他



■ はい ■ いいえ

【はいと回答した方】その理由を具体的に教えてください。

- 保険商品については対法人でも対個人でも税法がかかわるため
- 業界関係なく個人事業主は知識が必要
- 自分で確定申告したり、自分の事業の会計状況を知っておく必要がある
- 仕事から、保険金など受け取り時の税務は重要
- お金のやり取りが直接あるので、常識の範囲ですが、対応が求められる
- 少し特殊な職種なので、例外も多いため、知らないと損することもある
- 経理・税務を扱うシステムを開発することがある
- 個人事業主であり、税理士を使わず自分で税を納めているから
- 個人事業主として確定申告は必須業務なので、経理、税務の知識は必要
- 確定申告のことなどはある程度わかっていた方が節税にもなる

- 個人事業主が多いので、経費等を知らないが大変
- 個人事業主として最低限の知識はどの業界でも必要
- 節税につながり、その分ういたお金を自己投資に使えるから
- 事業規模が小さいため、自身で政務処理を行う場合が多い為
- 経費の計上のやり方を理解してれば利益を管理できる
- 業種的に複雑な経理はありませんが、個人事業なので税の知識は必要
- 税金対策や、扶養などの知識が必要
- 個人事業主として事業が上手く行く為に重要な知識
- 経費計上の方法や減価償却の活用、不動産所得に関する控除を最大限に活かすことができる
- フリーランスが多く申告や節税について知る必要がある
- 法人契約があるので、ある程度の経理や税金の知識は必要
- 税金に滞納がないように最善を尽くすなら必要
- 節約や節税を自分一人では管理しきれない

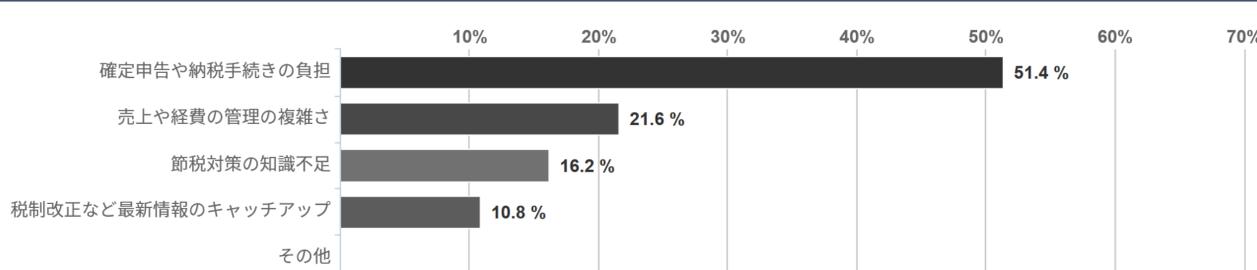
【いいえと回答した方】そう考える理由を具体的に教えてください。

- 業務では必要ない
- その関係の業務を開発などするとき以外はそんなに重要ではない
- あまり内容が複雑ではないので必要ない
- ”業務内容”には直接的に関わることがない
- 仕事そのものにあまり関連しておらず、あれば望ましいが、重要ではない
- ほとんどの人が会社に所属していて、会社で経理はしてくれる為

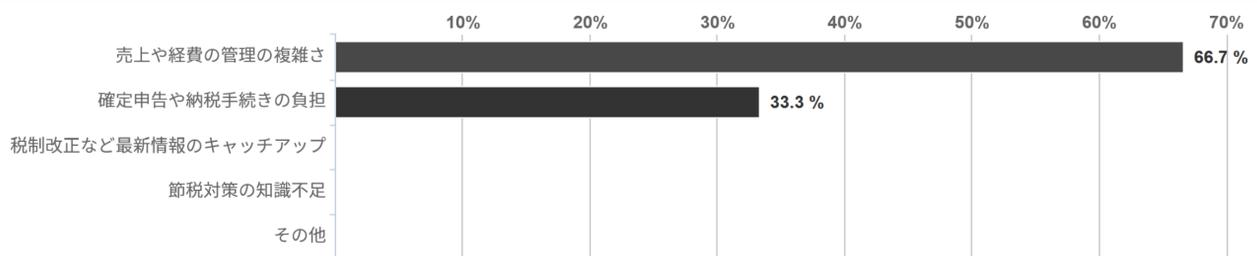
経理・税務の課題

ー業界全体において、経理や税務の課題として最も多いものはどれですか？

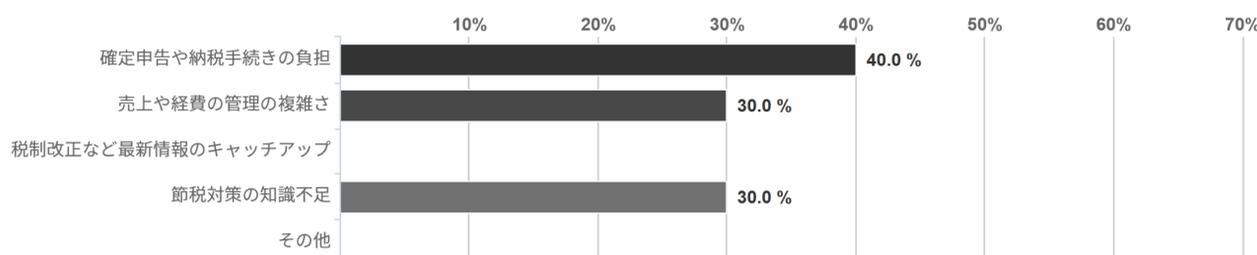
美容業



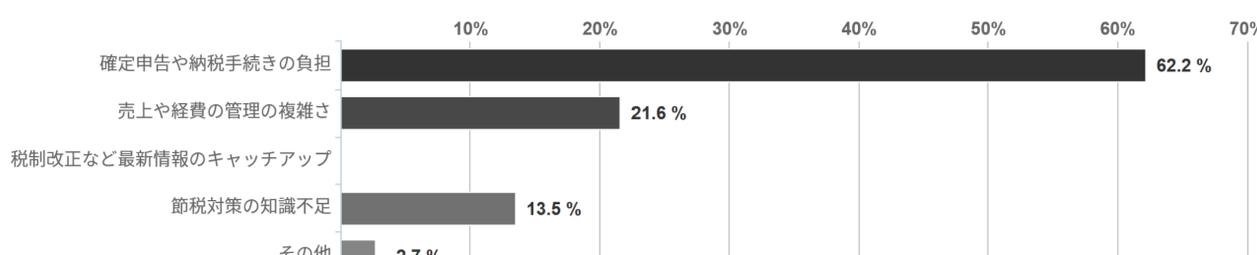
飲食業



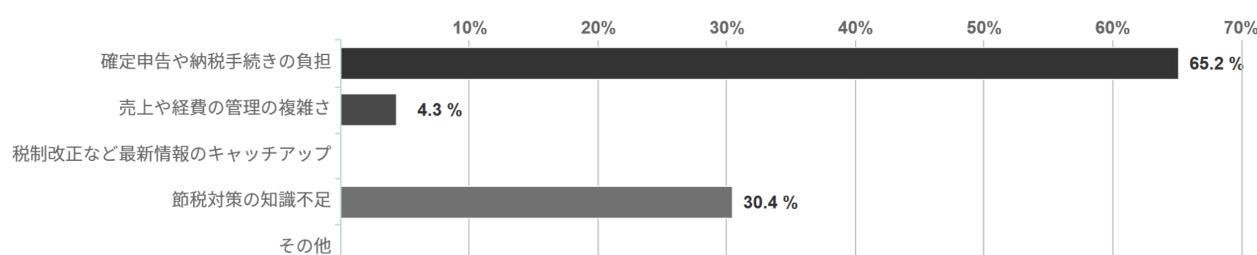
小売業



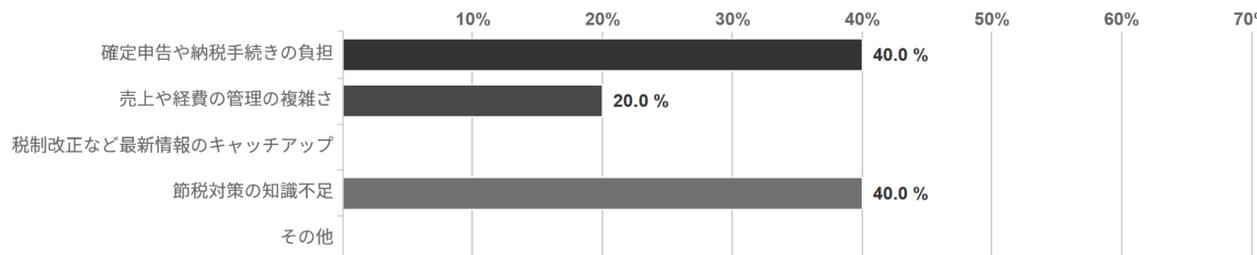
建設業



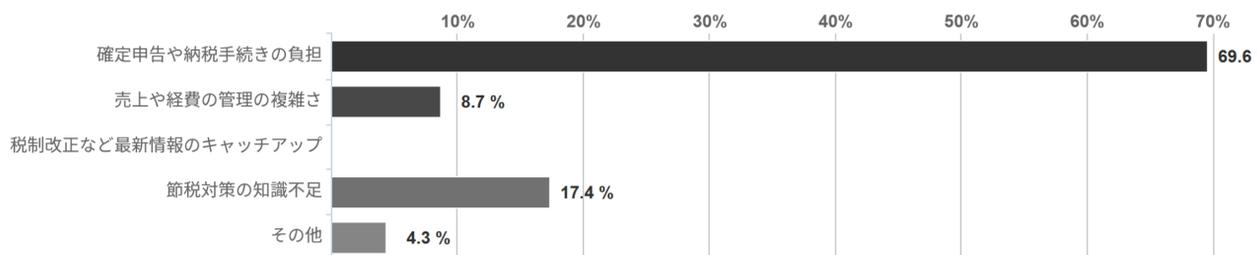
運送業



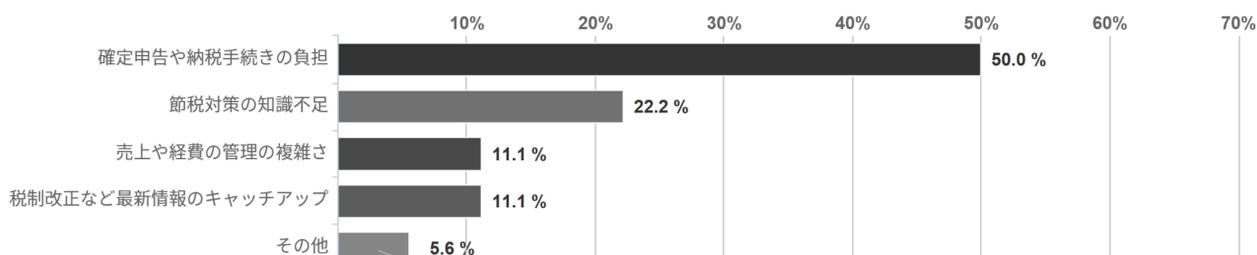
不動産業



WEBサービス業

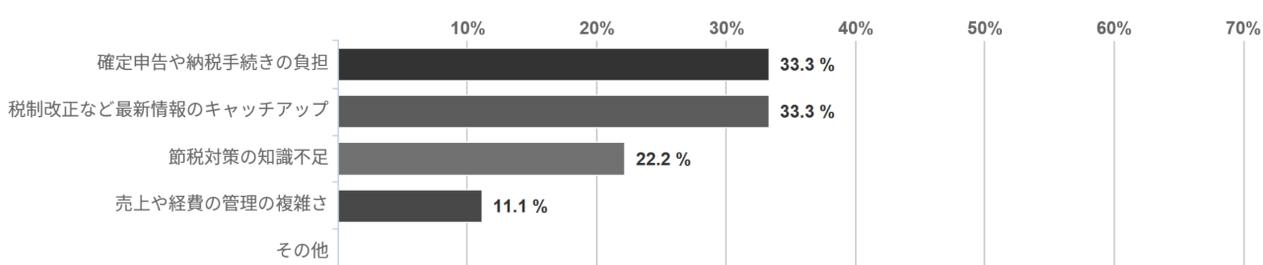


医療業・福祉業

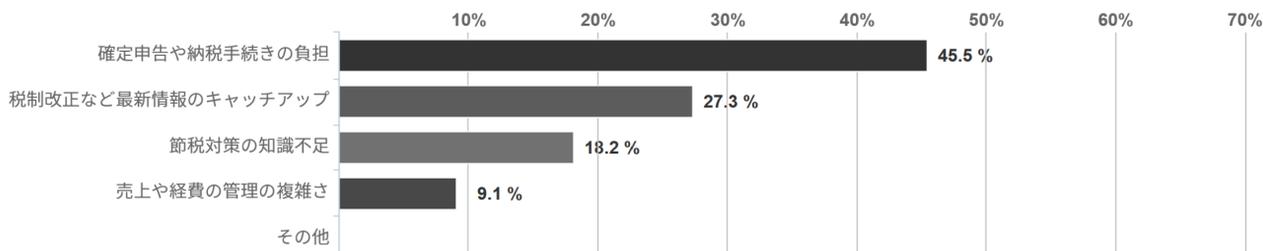


● 介護保険法や関連法制度への届け出

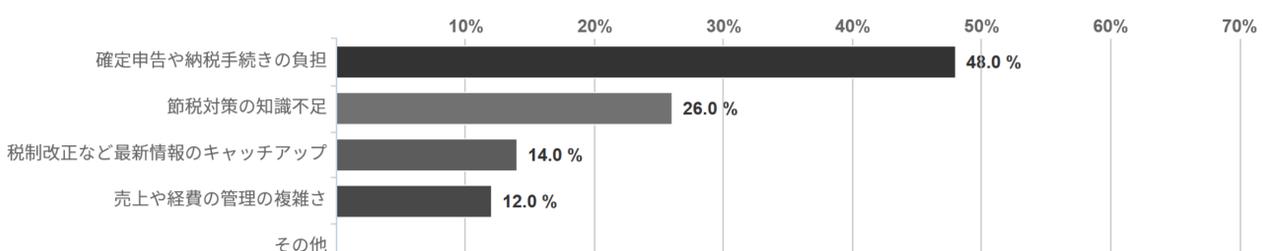
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



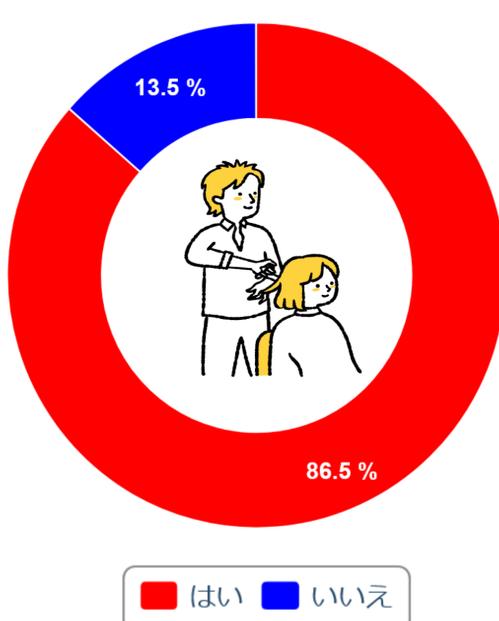
その他



経理・税務知識の利益向上への影響

—あなたの業界では、経理・税務の知識が
業務の効率化や利益向上に直結すると考えられていますか？

美容業



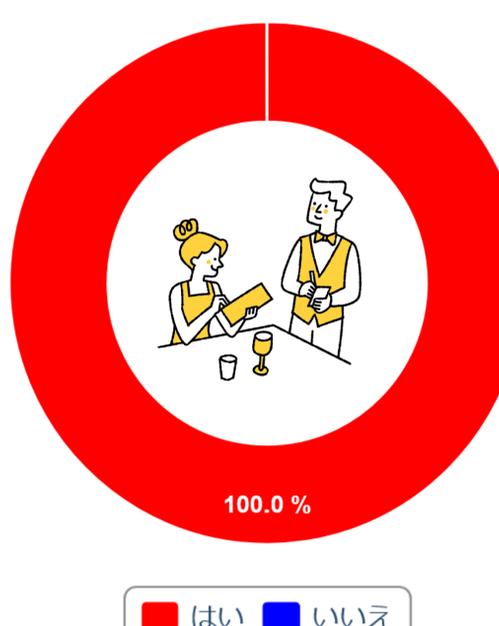
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 営業において、やはり収支のバランスや利益率を理解する必要がある
- 業務や利益に影響するのか具体的に節税利益
- 知らないと、一から調べたり委託したり時間も費用もかかる
- 各諸経費を把握することで運転資金や設備投資に繋げることができる
- 知識がないことでわからないことが多い
- 何が経費になるかで、売り上げが変わり、所得も変わるから
- 確定申告や税務など大変になるので仕事に影響する
- 在庫管理や経費の使い方などで利益の残し方などが変わるから
- コストの計算、時間の計算から価格設定をするため
- いかに出費を防ぐかが大切になるので影響する
- 経費（材料費）の使い方などが直接利益につながる
- 経費として捻出できる額の違いや、知らなくて損している法があったりすると利益も変わってくる
- 経費を削減出来て売り上げを上げれるならもっと利益が得る
- 知識があると売上がいくら必要かすぐに把握が出来る
- 経費を無駄に使い、節税などをして売り上げを減らしたりとよくわからない節税をしなくなる
- 業務でうまれる売上とそれに必要な経費を差し引いた利益を知っておく必要がある
- 経費の適切な管理や節税対策を行うことで、無駄な出費を抑え、収益を最大化することが可能
- 経理や財務の知識などで節税など利益を出せる
- 本来の業務に集中しやすいのでその分は業務や利益に影響がある
- 節税対策をする事によって税金を少なくする事ができるので結果的に利益が増える
- いろいろな経費を適切に把握管理できると、無駄なコストを削減でき、利益率が上がる
- 営業時間内での売り上げには上限がある
- 適切な知識があれば節税や資金計画など立てやすくなり利益に繋がる

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 今も自分でやっていないし、頼れるところがある
- 知識があってもできることは大してないから
- 基本的に税理士に丸投げをしている経営者が多い
- 実務にはあまり関係はないが経営としては知識がある方が良い
- お客さんが来なければ経理をしていても利益は上がらない

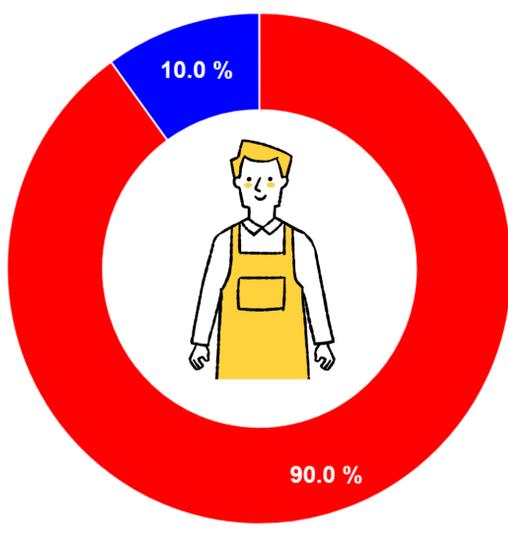
飲食業



【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 適切な経費計上や税制優遇の活用で利益を最大化できる
- 日々の売り上げと支出の管理が必要
- 仕入れや光熱費、家賃などのコストを理解し把握するには経理の知識が必要
- 物価高に直結してくる業界なので、利益率計算が重要

小売業



はい いいえ

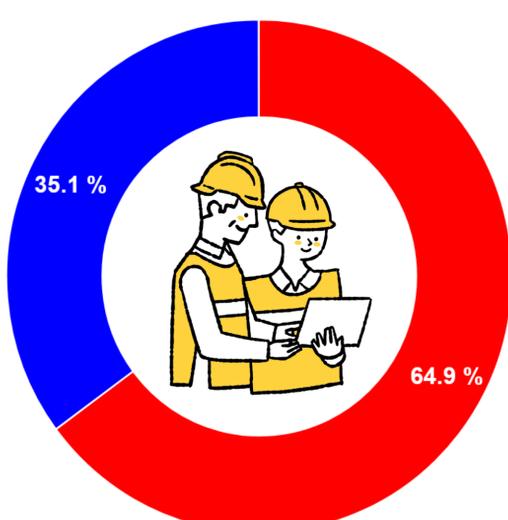
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 店舗の中で経費で落として税金対策している
- 販管費の管理を徹底しないと利益が出ないことがある
- 知識が全くなければ、税務処理の全てを税理士に外注しなければならないので、利益を圧迫する
- 仕入れや売上処理が多い業界なので、知識があることでスムーズに処理ができる
- 例えば節税の知識があればその分実質利益向上につながる
- 知識があることで調べる時間が減り、業務効率が良くなる
- 経費関係をしっかりすることで節税が可能

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 税理士にすべて任せている

建設業



はい いいえ

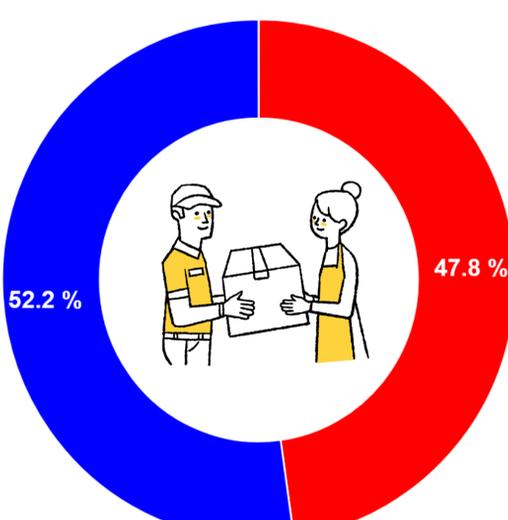
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 知識がないまま経費など考えず提出してしまうと高額な税金の請求がくる
- うまく節税対策できたら経費であげれる
- 節税も大切ですが経費削減も大切
- 節税を上手くやっていければもっと道具とかにお金を当てられる
- 数字が見えることによって、分析と対策が出来る
- きちんと節税をして利益を確保していく事が重要
- 経理の知識は決算書の知識になり決算書を見れることは経営改善に繋がる
- 知識不足により、事務作業に時間がかかる
- 機械を使う事が多い為、燃料代もかなり使うので、しっかりとやらないといけない
- 使える使えないの経費でのちりつもでも年間何十万変わる
- 材料費や諸経費などを細かくしないと利益にならない
- 税理士にお願いして適切な経営アドバイスをもらうのがよい
- 経費の使い方や節税などの知識がもっとついたら利益に影響する
- どれが経費なのかを把握しておけば良い
- 経理とか税務のことがもっとわかれば、利益を上げることができて、節税ができる
- 具体的には分からないが知識があったら手取りが増える
- 税制を理解していないと、余計に税金を払わなくてはいけなくなり、利益を圧迫される
- 売上や利益を細かく知る事で戦略を考えるようになる

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- あんまり難しくてわかりませんが利益がそんなにない
- 売上げが多くなく、毎日資材購入などが無い
- 技術力や現場での対応力が業務効率化や顧客満足に直結する
- 売上げや経費は業界としてはそれほど複雑なものではない
- パソコンで管理できるためそんなに負担にならない
- 現場仕事なので、あまり直結していない
- 業務はほとんど現場での作業が多い

運送業



はい いいえ

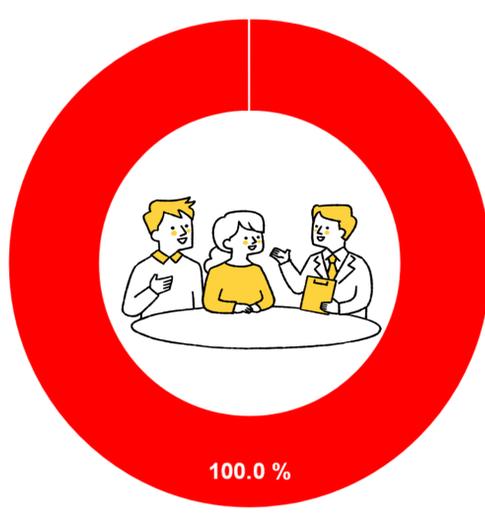
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 税務・簿記知識があれば、適切な会計処理により適切な納税が可能になる
- 使える経費をわかれば税金が削減できる
- 経費の知識があると確定申告の時に役に立つ
- 節税の知識があれば、経費として計上できる
- 家族の健康保険などの見直しが必要
- 実働に集中することが出来るので取りこぼしがない
- 単純に使える金が多くなれば全てにおいて得になる
- 経理の時間が短縮されることにより業務時間が増える

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 職業が運転のため事務的な仕事はあまり関係ない
- 個人事業主でしかも1人社長だと節税できるものは限られる
- 事務的な仕事は帰宅後や休日など時間外に行うので普段の仕事に変化はない
- 本来は専門家に任せて自分は仕事だけに専念するのがいい
- 必要になる場面がまったくない
- 単純経理でfreee会計ソフトが役に立っている
- 掛かる固定経費は同じで特に意識している訳では無い

不動産業

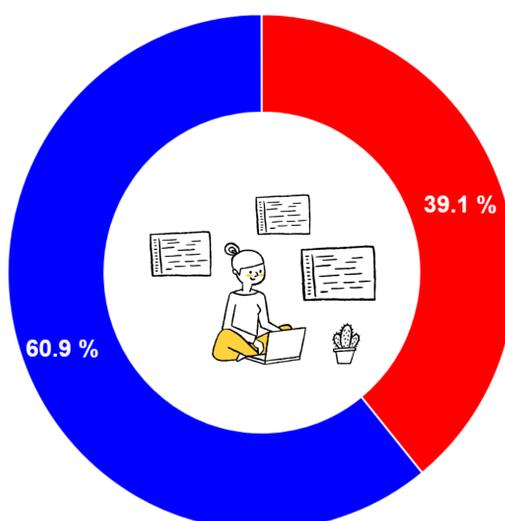


はい いいえ

【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 迅速に把握できることで、今現在の課題解決に向けて考えられる
- お客様と話す上で、経理や税務知識は最終的に税理士に相談としても必要
- 納税に関する知識が増えると正しく節税するノウハウが身につき利益が確保できる
- 経費区分の判断により、税額が変わるため税理士と相談の上漏れの無いようにした方がよい

WEBサービス業



はい いいえ

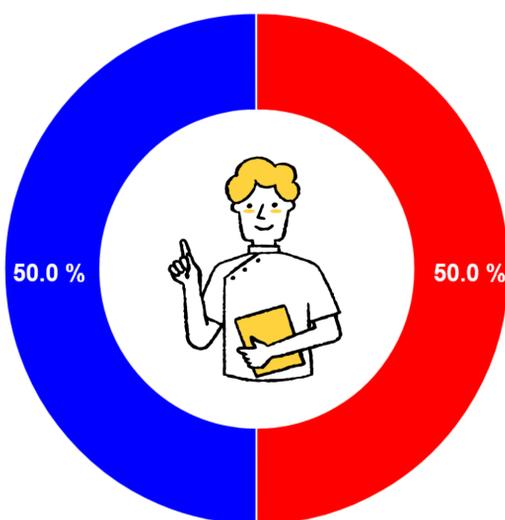
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 金額は大きくないと思いますが、税制などの理解により調整できるところが増える
- 仕事以外に割く時間が減ればおのずと収入も上がる
- 節税の知識を持っているかどうかで、利益率が大きく変わることになる
- 基本的には税理士に任せるで良いとは思いますが、話が通じるくらいには知識が必要
- 節税する方法がわかっているれば、その分資金が浮くため事業資金に回せるケースがある
- 正しく経費処理や節税を行うことで手取りが増え、資金繰りや事業投資の判断が的確になる

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 業務内容的に税務とは無関係なため、確定申告以外ではほとんど影響がない
- 計上する項目はそれほど多くないため効率化は重要視されていない
- 取引量は多くないため、そこまで負担にはならない
- 業務委託で働く場合は、確定申告に変わる処理が少ない
- 関連性が全くない業種であるため、効率化や利益アップには繋がらない
- スキルを向上させて売り上げを上げることの方が重要であるから
- 業績が左右されるといったことは聞いたことがない
- 経理・税務の知識が業務の効率化や利益向上に直結することはない
- プログラムの知識や技術を身につける方が利益向上につながる
- 特に業務で税務・経理の知識を使うことがない

医療業・福祉業



はい いいえ

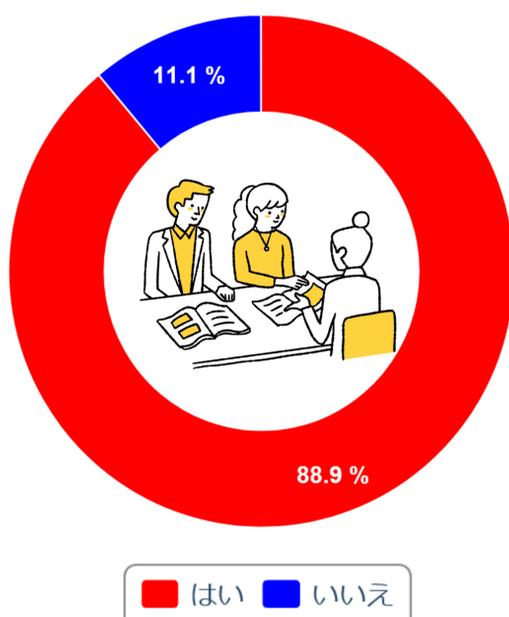
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 時間が短縮出来たらその分だけ他の事に時間が使える
- 小規模共済等使って節税できるのにしてなければ、単に税金を余分に払うから
- 節税の知識がないと大きな損失につながる
- 経費の使い方によって、実際残ってくるお金が変わってくる
- 重要なのは売り上げよりも利益。そのため、経費や節税などがいかに残せるかを考えるために重要
- 経費を減らすことによって、純利益を増やすことができる
- 主に保険点数の改正や経費削減等で利益率はあがる
- 適切な経営の為に財務状況を管理する為には必要

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 売上の金額は固定のため、経理地知識はそこまで関係がない
- 報酬単価は決まっているので利益は代わらない
- 数値がでたからといって作業の効率とは全く関係ない
- 効率化に直結はしないが、節税対策や、税法の改正などに関係する
- 医療なので、仕事の内容的には関係ないですが、経営には必要

専門家(士業・FP・コンサルなど)



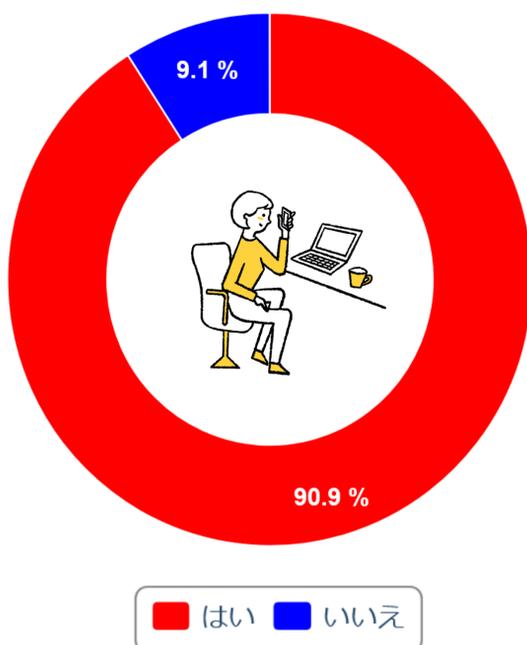
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 知識の有無で仕事に繋がるかどうかとなるので結果売上にも直結する
- 節税対策、対応範囲の理解が必要
- 正確な業績を測定することが経営の効率化や戦略策定に直結する
- 税金費用の圧縮は資金効率の改善を通じて事業の拡大に貢献する
- 税務を知らなければお薦めする内容も異なるので実績に直結する
- 自分で出来るようになるとかなり経費が浮いて利益向上につながる

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 個人事業主として経費となる部分が仕事上限りなく少ない

個人投資家



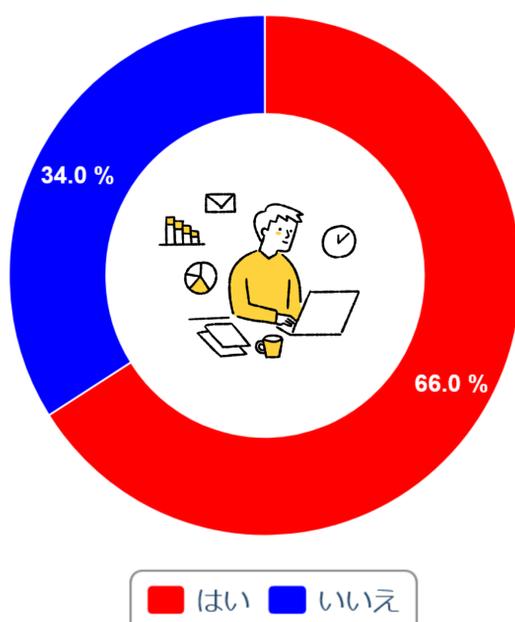
【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 税務署は未払いには厳しいが過払いに関しては放置だから
- 税金の知識があると損益通算などの実践ができる
- 適正な税務管理でコスト削減し、資金運用を最適化する
- 減税等による市況の影響が大きく関係する
- 投資家にとって経理・税務の知識は非常に重要
- 不要な売買をしてしまうと余計な税金がかかってしまう
- 総合課税、分離課税などそれぞれの知識がないと利益が変わる
- 税金の知識がないと、利益と損失を出すタイミングによって税金の額が変わってしまうから

【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- 会社事務所がやってくれる

その他



【はいと回答した方】どのように業務や利益に影響しますか？

- 経費にできるものの範囲を把握することで、節税につながる
- 税務や経理の知識がないと商品説明ができない商品があるため
- 税制の優遇の部分などで、知識があるとより利益の増加につながる
- インボイスなどの納税額の圧迫から少しでも緩和できるように知識が必要
- 節税対策としてふるさと納税をしたりや、法人化したりする
- 特に法人契約などでは、直接的にその関係法人の資金そのものに影響する
- コストカットにより他に回すことができる金銭が増加する
- 経理を扱うシステムを開発する場合に役に立つ
- 税務に対する知識が多ければ節税対策や補助金関連で利益を増やせる
- 確定申告で、税金が変わってくるので、利益に影響する
- 経理にとられる時間自体がもったいない
- 長期的なキャッシュフローを分析し、事業の拡大計画を立てやすくなる
- 計上できる経費が少ないため、計上しなかった場合利益や課税対象額に直結する
- 税金の事がわかってないと税務署から請求が来るのが怖い
- 無駄な出品や負担無駄な税金を減らせる
- 単純に作業が早くなったり、節税などにつながる
- 金融機関の商品を扱うので税務の知識がないと説明できない

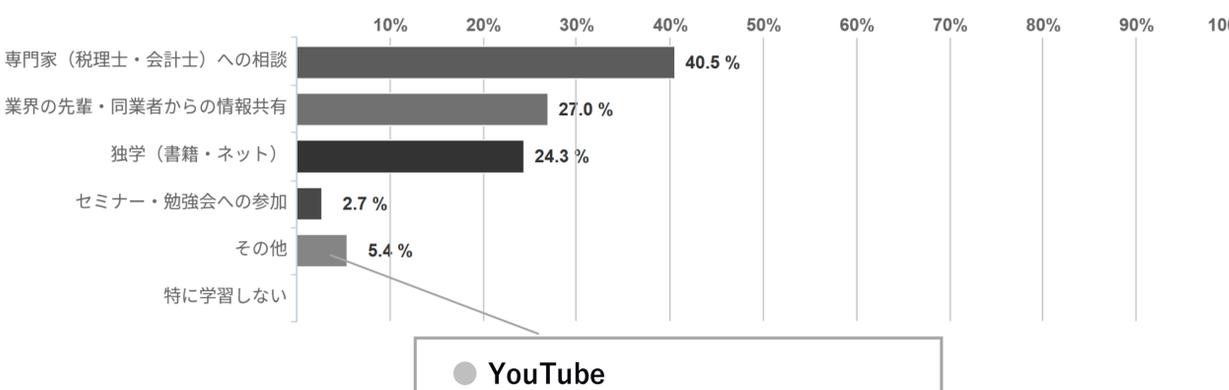
【いいえと回答した方】そう考える理由を教えてください。

- あらかじめ整理しておけば難しくない
- 大半の同業者が、確定申告の時期のみ経理・税務作業を行うから
- 自分で覚えたところであまり利益に繋がるような仕事ではない
- 売り上げと直接関わりがないため、知識があっても、売り上げが上がるとは言い難い
- あまり複雑な取引はないので、クラウド会計システムなどを扱えば十分対応可能
- 節税等で私生活が変わるかもしれないが、効率化や利益向上には関係ない
- 直結はしないかもしれないけれど、知らないで損していることも多い
- 規模が小さいので、あまり効果はない
- 経理・税務の知識は業務の効率化ははかれるが、それが利益向上につながるような仕事ではない

経理・税務知識の習得方法

—あなたの業界では、経理・税務の知識をどのように習得する人が多いですか？

美容業



【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 我々美容業では、独立する際は経営に関する知識が乏しいので、第三者に頼るしかない
- 個人事業者は自ら情報を得ることが基本で専門家に聞くことが多い
- 自分で理解するメリットがない
- 経理や税務は経営しないと関わることがない業界なので、専門家に聞かないと分からないことが多い
- 経理税務はその道のプロに任せておいて、自分が出来ることを最大限にする
- 各専門分野の方に聞いたりした方が早い
- 気軽に聞けるから
- 業界関係なく専門の方に相談するのが一番良い
- ある程度は勉強するが業務が忙しくなるとプロに任せた方が良い
- 出来る人が少ないので専門家にきく

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 近い存在の人に聞くのが聞きやすいから
- 情報交換が重要のため
- 同業者の方の情報や、知識を教えてくれるから
- 同業者どうしの繋がりが割とある職業だから
- 同業者だと理解してもらえて的確なアドバイスがもらえる
- 同業者ならではの経理、税務の対策をお互いに情報交換できる
- 時間で技術サービスを提供する為

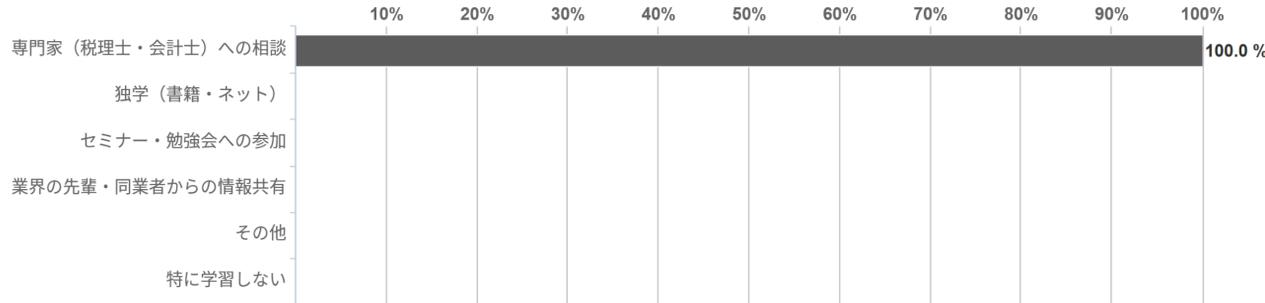
【独学（書籍・ネット）】

- 勉強しやすい環境にあるから
- 独立する美容師向けに本が出てたりする
- 一般企業と休日のずれがあるので、独学で習得しようとする傾向にある
- 業務的に忙しい人が多いと思うので、空いた隙間時間に自分で調べる事が多い
- 動画で知識を得ることが容易なため
- ネットで学ぶ人の方が多い

【セミナー・勉強会への参加】

- その専門のセミナーなどに参加して情報を取り入れる

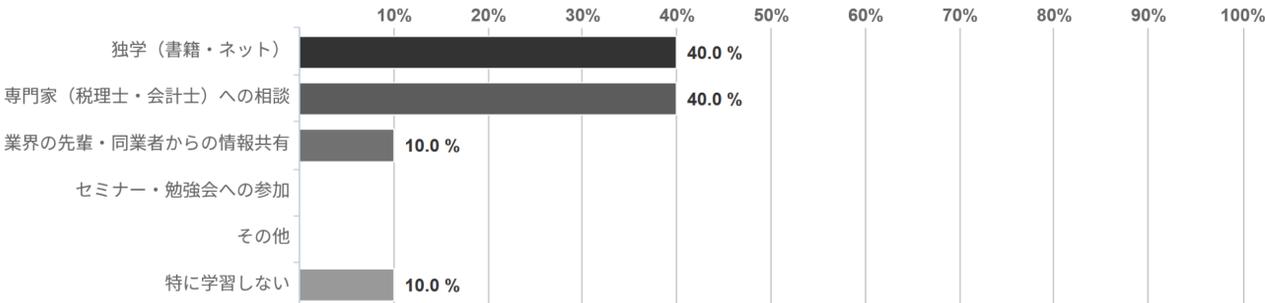
飲食業



【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 税制が複雑で専門知識が必要なため、正確な対応のために専門家へ相談するのが一般的だから
- インボイス導入等や補助金、助成金も税務関係の書類が必要になるので専門家の答えは必要
- 専門家に頼んで、毎月の試算が重要

小売業



【独学（書籍・ネット）】

- 同業者とは財務状況を気軽に話し合えない
- AIに相談することで知識をつけている
- 最近はYouTubeなどでも有益な情報を無料で得られる
- フランチャイズでは中々時間が取れる人も少ないため、ネットで調べたりするのが1番早い

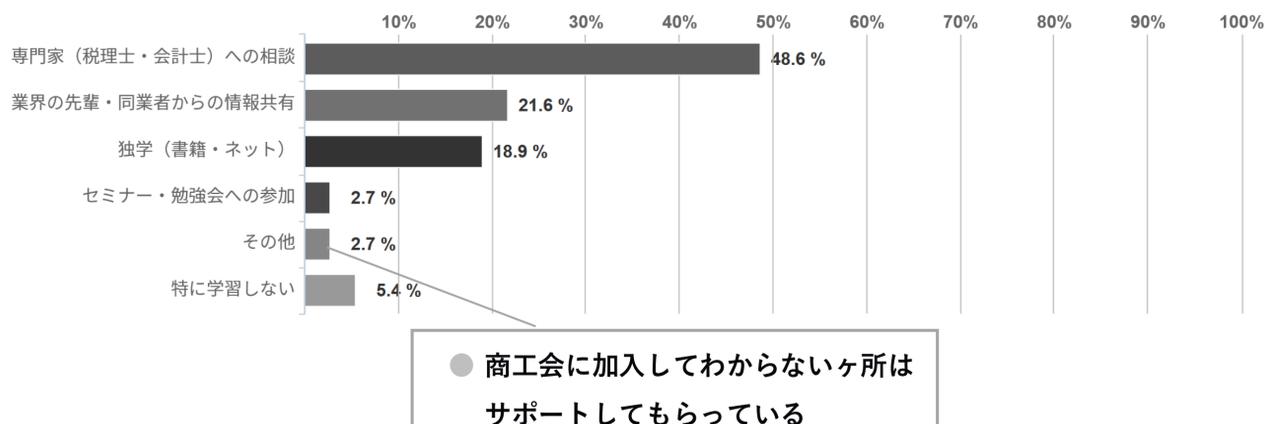
【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 事業規模によるが顧問税理士がいるところはそのような相談が多い
- 販売点数、アイテム数によって経理が煩雑になり、専門家の知識が必要になるため
- 売り上げをUSドルで受け取る。さらに消費税還付を受ける輸出業ならではの税務処理があり、専門家に任せないと個人の知識では難しい部分がある。

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 同業者がいっぱいいる

建設業



【専門家（税理士・会計士）への相談】

- だいたい税理士が多い
- 税理士さんが節税対策を教えてくれる
- 専門家に頼む方が楽
- 色んな経費を上げれるかは税理士に聞いたりするのが良い
- 発注が多くなれば素人では計算出来ない
- インボイスの導入により税理士さんがわかりやすく説明してくれた
- 正しく申告、納税が出来る
- 仕事忙しくて中々そっちまで気が回らないから
- 仕事しながらの経理は、一人でできないと思うので専門家が必要
- 業務の金額が大きく、中小企業でも管理が厳しい
- 税理士さんをお願いしてるところが多い

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 職業柄税務に疎い人が多い
- 周りに詳しい人がいないので他社の経理の人に聞いている
- 同業者の独り言から学ぶことは多い
- 節税対策や経費計上などの知識は周りの職人さん達と情報共有することが多い
- 最初は同業者に聞いたりして覚えることが多い
- ネットなどでも調べる事はあるが周りの人が実際にやっている事の方が有用性が高い
- 業界の特徴として職人どうして話した時に税金の話などするから

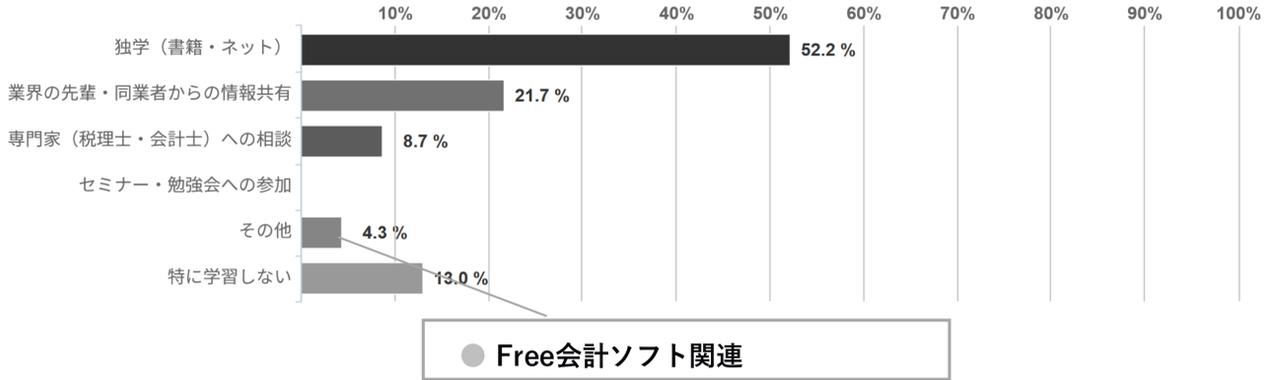
【独学（書籍・ネット）】

- 調べたらでてる
- ネット等を活用した独学になる場合が多い
- 独学でやるしかない
- 建設業は個人事業主が増えてるが、知識不足の人が多い
- 忙しい業務の合間に自分のペースで学習できるため
- 若手はパソコンに慣れているので独学で勉強している

【セミナー・勉強会への参加】

- 税に関する法改正が頻繁にあるから

運送業



【独学（書籍・ネット）】

- 特に周りに詳しい者がいるわけではないので独学になることが多い
- 聞く環境がない
- 宅配業務の個人事業主ですが、経費は決まっているので、そこまで経理の知識は必要ではない
- 1人で業務を行うことが多い業界のため、SNSやYouTube等の動画サイトで知識を得ることが多い
- 自分の周り的人では独学で知識をつけている人が多い
- 時間もないし、仕事柄複雑な仕訳などはない
- フリーランスで個人事業主が多い為に、情報交換の場がない
- 時間的な問題でYouTubeなどを利用している

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 実践を踏まえた人から聞くのが一番
- 運送業は個人事業主が多いので、職場内で同じ立場の同僚らと情報共有などをしやすい
- そこまで複雑ではないと思うので同業者などにどのようにしているか聞いている

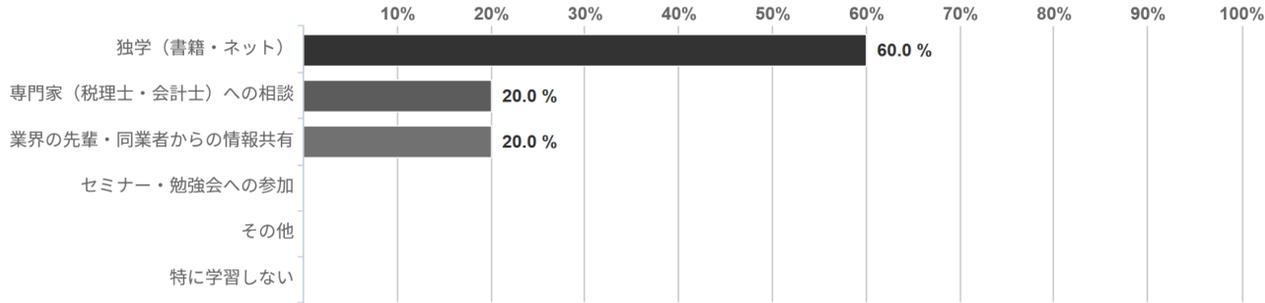
【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 困ったときは会計士に相談できる
- 拘束時間が長く、アナログ的な人が多いので知り合いの税理士に任せている人が多い

【特に学習しない】

- 税理士に頼む
- 人任せにする

不動産業



【独学（書籍・ネット）】

- 収入が特別多いわけではないため
- アパート賃貸業は規模が小さく、勉強代や時間を沢山かけて経理・税務の知識を習得する状況ではないため、手軽に書籍やネットを使って独学する
- セミナーやオーナーグループもあるが、基本各自で行っている

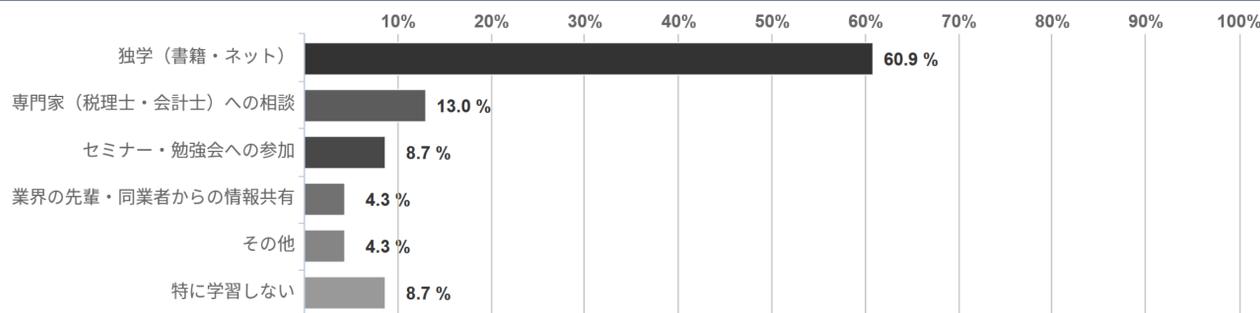
【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 税制改正など、不動産取引において常に最新の知識が必要

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 机上の空論ではなく実際に役に立つ情報を手に入れることができれば強い

WEBサービス業



【独学（書籍・ネット）】

- 特殊なことはしないため、ネットなどで情報を得る人が多い
- 業務知識を独学で学ぶ人が多い
- パソコンを使う仕事だから、自分で調べる人が多い
- 複雑な税務処理を行う人が少ない
- 在宅で独学で学びながら進めることが多い
- 小規模な個人事業主は会計士に顧問料を払うほど余裕はない
- 節税方法は調べれば何でも情報が出てくる時代
- 専門家への相談が一番効率が良いが、費用がかかる
- ネットから情報を得ることに慣れているから
- 個人事業主の経理としては単純であるため、そこまで学習する必要はない
- わからないことはインターネットで都度調べ、一つずつ身に付けていくケースが多い
- なかなか時間を取ることが難しいので業務の合間で独学で学ぶことが多い

【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 業務内容が税務と無関係なので、詳しく人が業界には少なく、専門家に頼る方が安全
- 聞きたいことをピンポイントで確認出来る
- ソフトウェア開発業界は技術革新が速く、エンジニアは開発や改善に集中する必要がある
- 経理・税務は専門外であり、法律や制度の変化も多いため、正確かつ効率的に対応するには専門家に相談する方が合理的

【セミナー・勉強会への参加】

- WEBやSNSから情報収集をする人が多い
- フリーランスの人が周りにいないので経費とかの口コミ的な知識が得られない

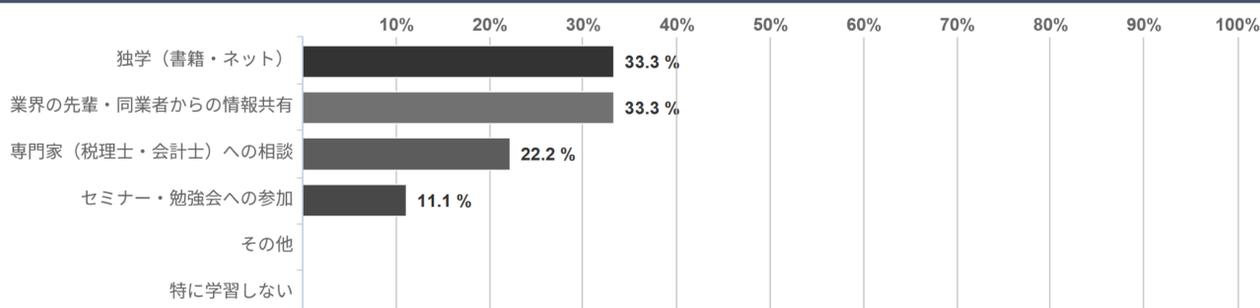
【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 仕事もそうですが、知っている人から学ぶのが一番早い

【特に学習しない】

- 必要とされていないので学習してない
- 業務上必要としないため

医療業・福祉業



【独学（書籍・ネット）】

- インターネットに全ての情報があるため
- 小規模な事業所が多いのでそこまで会計に手間がかからない
- 独学でやる人と何もしない人の2択
- 実際の業務とは直接的に関係ないため、独学が多い
- 最近は、ノウハウは無料で手に入れることができる
- 教えてくれる術がないため

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 同じ職業の人に聞いた方が、色んな知識がみつくと
- 多店舗展開しているような院は別だが、個人で経営している所は、開院当初は税理士、会計士を雇う余裕はないので、周りに聞いて手助けしてもらう他ない
- 士業の先生方に相談するコストを考えると身近に相談できる諸先輩たちを選んでいる
- 諸先輩方からのアドバイスや、節税対策を聞く事は多い
- 社内の経験共有、引き継ぎで学ぶ機会が多い

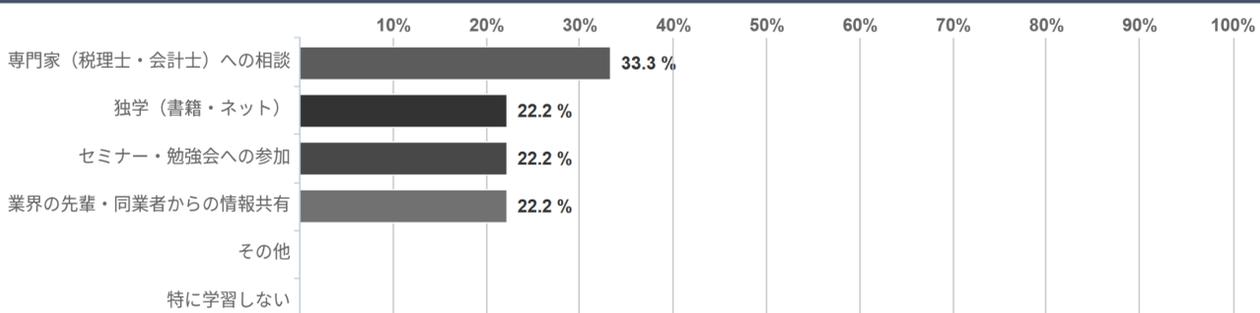
【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 独学やセミナー参加の時間がとれないので、専門家に相談することがもっとも効率的
- 専門分野に依頼する人が多い
- 専門家に聞くことが一番
- 大体税理士さんをお願いしている歯科医院が多い

【セミナー・勉強会への参加】

- セミナーと言うよりYouTubeなどで情報を得る事が多い
- 福祉サービスや保険点数等、改正される事が多いから

専門家(士業・FP・コンサルなど)



【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 自学自習するというよりプロに学びに行く方が早い
- 業務分担範囲を超えてしまうことでの負担軽減
- 一番専門家に聞くのが近道

【独学（書籍・ネット）】

- 業種として仕入れがないため、セミナーなどの一般的な情報が参考にならないケースが多い
- 基本的な仕分けなどは、ネット上の情報が参考にすることが多い
- 売上高的に、顧問税理士を雇うほどではなく、前職で経理責任者を務めた経験が生きている

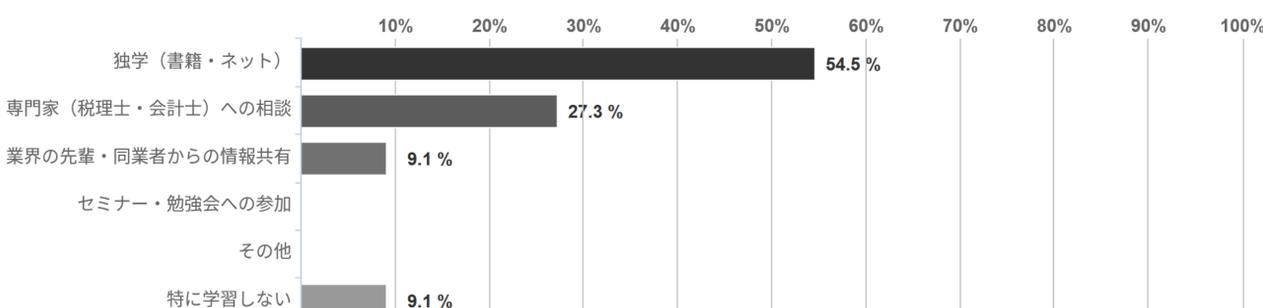
【セミナー・勉強会への参加】

- 業界団体や大手事務所が研修会を開催していること、研修をすること自体が義務化されていることから研修会や独学による知識のアップデートが求められる
- 代理店は各保険会社から期待されているので各社で実施する勉強会に参加する

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 個人事業主同士での情報収集
- 税制の改定により今までと違った提案につながる

個人投資家



【独学（書籍・ネット）】

- YouTubeで簡単に情報を得る事が出来るから
- 個人投資家としては個人の節税対策より世の中の税制が影響する
- 専門家でも暗号資産に詳しくない人がいるから
- 税制はコロコロと変わるため最新の情報が必要
- SNSで情報を共有することが多い

【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 実務経験を積みながら学ぶ人が多く、税理士や専門家の助言を受けることも一般的
- 独学での情報収集も重要だが最後は専門家へそれが正しいのか確認が必要だから

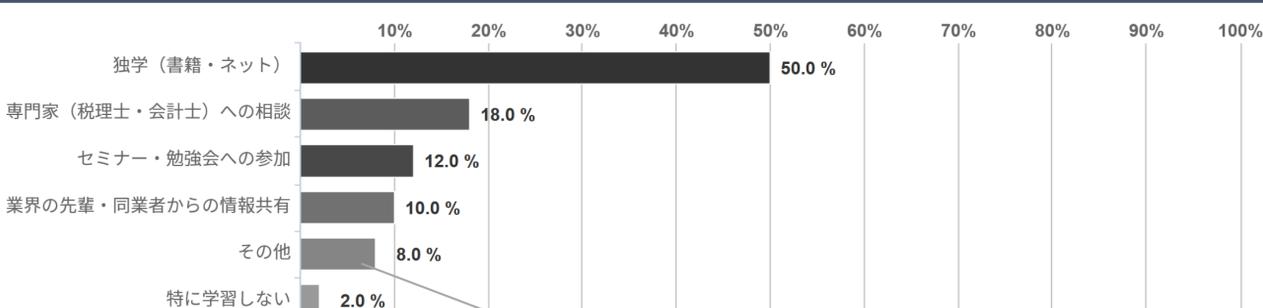
【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 保有中の銘柄に含み損がでている場合に他の銘柄と損益通算するかどうか

【特に学習しない】

- 会社事務所に頼んでいる

その他



- オンライン講座やコース
- 知り合いからの情報共有
- 先輩・同業者からの共有や専門家への相談

【独学（書籍・ネット）】

- インターネットで技術系の情報を収集することも多い
- 個人事業主では独学で得た知識を使用して、申告などを行う事が多い
- 占い師という特殊な仕事なので使える経費などネットで調べないとわからない
- 基本的に横のつながりが薄い
- 一人親方が多いのでみんな自分で勉強している
- 仕事に直結はしないので、そこまでしっかりと勉強する人が少ない
- 業界全体を通してレアな例のため、先輩が少ない
- 無料で知りたい知識をピンポイントで検索できる
- 授業、教室運営の本業務に集中する人が多く、経理面での業務は本部に任せて問題ない意識が高い
- フリーランス、ダブルワークで仕事を請け負う人が多いため
- 保険業を携わる上で最低限の知識は必要

【専門家（税理士・会計士）への相談】

- 会社に会計士を呼びそこで相談する
- 自分で学習する人は少なく、専門家に相談する方が早いと考えている人が多い
- 税理士さんに相談しないと経費になるのかならないか分からない部分が多い
- カウンセリングなどの一番必要な事に時間を割き、それ以外は専門家に任せる人が多い
- 解らない事は専門家に任す方が多い
- 税理士は単に税務申告をするだけでなく、長期的な経営戦略や相続対策などもサポートしてくれる
- 売り上げの大部分が人権費の為 そこをいかに節税に繋げるかが 素人には良くわからない
- 知識がすでにある専門家から話を聞く方が早い

【セミナー・勉強会への参加】

- 保険会社主催の勉強会が開かれている
- 情報を集める手立てを取得することができる
- 定期的にセミナーなどがある
- 個人事業主であれば、商工会主催のセミナーなどで学ぶことができる
- 法人契約では経理処理は必須なので、学ぶ必要がある

【業界の先輩・同業者からの情報共有】

- 先輩から知識を得てる
- 専門家の話だとわかりづらいこともあるので
- 独学もしているが、同業の先輩、同僚からの情報は重要
- 個人事業主なので知り合いや先輩からおそわる

【特に学習しない】

- 自分一人で事業をやっている為、従業員は雇っていない

経理・税務業務の実施方法

—あなたの業界において、経理・税務業務を主にどのように行っていますか？

美容業



- 人による
- 会計アプリ

【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- やはり確定申告などではプロにやってもらう方がいい
- 自分で出来る所はやり、出来ない所は任せている
- 税理士報酬をなるべく抑えたいと考えるが、普段忙しいので難しい部分は任せた方が楽
- スタッフが多いお店は専門家に依頼してることが多い
- 出来ることはやった方が勉強になりますし、難しいことは専門の方をお願いした方が良い
- 日常の経費などの打ち込みは自分で出来る
- 確定申告だけは税理士さんをお願いする
- 専門は専門にお任せするのが一番で出来ることに専念すること
- 事業の規模によって対策の仕方が変わる
- 自分でできる範囲が多い
- 数字入力を自分ですることである程度の金額の収支を把握できる
- 費用面などをみて最低限のところは自分で
- 自らの知識を高める機会が少ないと感じるため難しい所は専門家に依頼した方が確実性がある

【税理士や会計士に全て依頼】

- 自分でやりつつ専門家のチェック
- 営業時間はすべて施術や集客に費やしたいから
- 自分ではできないので任せている
- 仕事が忙しいため、依頼することが多い
- 個人的には知識がないので、専門家に任せる方が確実だから
- 雇われ時代に勉強する機会が全くない
- 経理税務に関わる時間が無いので専門家をお願いすることが多い
- 技術のことを勉強していて他に勉強が不足
- 忙しくて面倒な事に時間を費やせない。
- 実務が忙しいのでそこまで手が回らない
- その道の専門家をお願いして、利益を出して納税をするため
- やはりどこまでが経費でと、細かい部分があるのでプロに任せている
- 本来の業務とは違うので専門家にある程度任せている所が多い
- わからないので、任せている
- お店が忙しいとやってる暇がない
- 経理を任せることでサロン業務にコミットできる

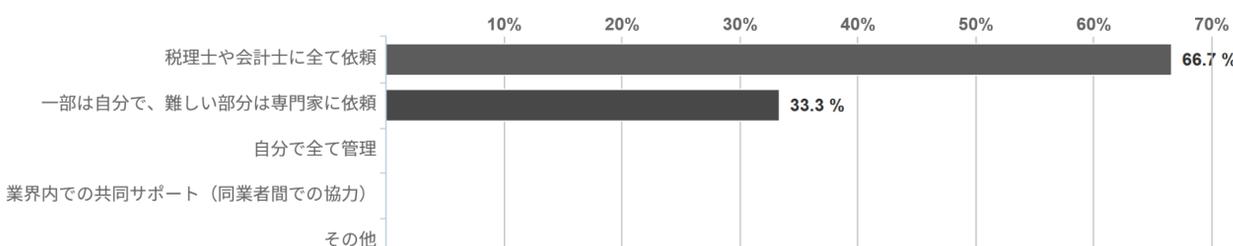
【自分で全て管理】

- あまり売り上げも無いので、自分でしている
- いまのところ困っていない

【業界内での共同サポート（同業者間での協力）】

- 自分でやる人が多い

飲食業



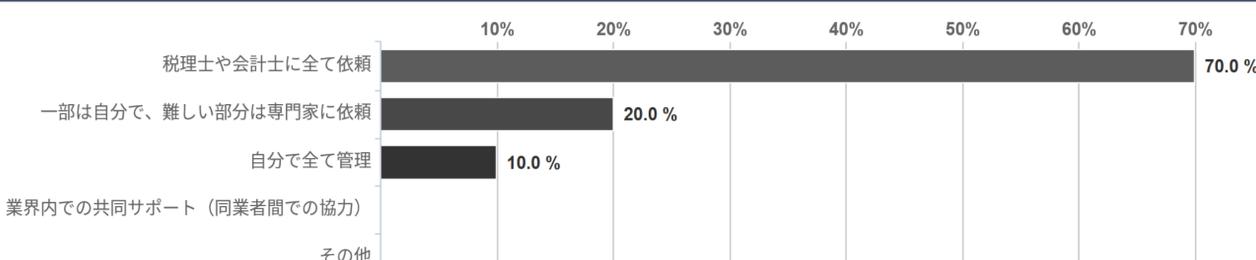
【税理士や会計士に全て依頼】

- ワンオペである為、就業時間の拘束が長いので、経理に関しては専門家に任せた方が効率的
- 専門家に頼み、業務に専念

【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 時間が長いので入力自分、そのほかは顧問税理士をお願いしている

小売業



【税理士や会計士に全て依頼】

- 自分では複雑すぎて、できない
- 管理が複雑なので、税理士に任せてる
- 日常業務が忙しいので税務を学び、納税額を計算するまで手が回らない
- 税務知識が相当必要な業務なので、個人で考えながらやると本業に大幅な影響をきたす
- 消費税還付で十分に税理士費用を賄えるため、初めから税理士に依頼して、本業に集中した方がいい

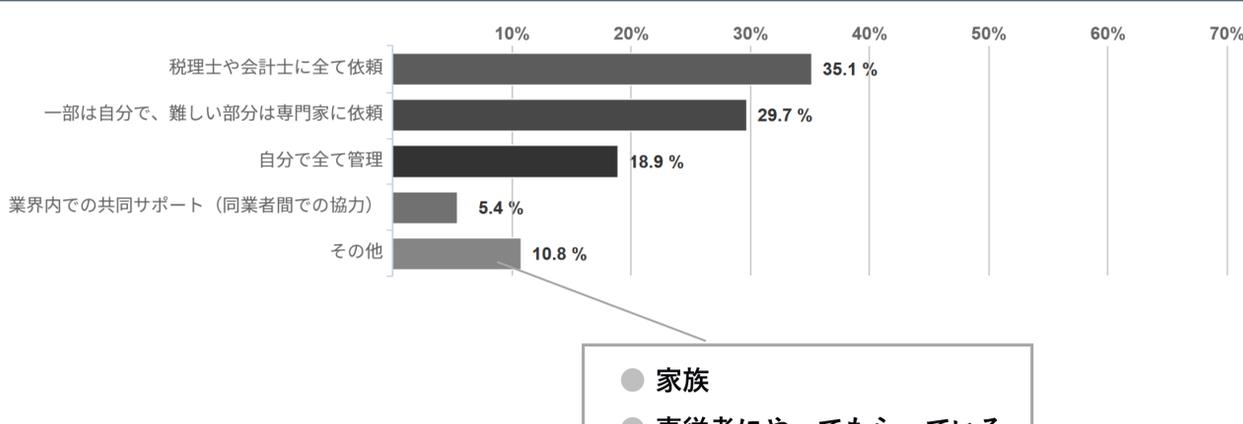
【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 税理士に任せても細かいところは難しいとこがあり、一部自分でやるのがベスト
- 顧問の税理士がついてる場合は、経費に関しては全て領収書をまとめたりなどとするには専門家を通すのがいい

【自分で全て管理】

- 会計ソフトを使用しているため、1人で事足りる

建設業



【税理士や会計士に全て依頼】

- 税理士等の専門家と契約する事が多い
- 自分でやるのと、税理士さんにやってもらうのと信用度が違う
- 一人親方なので仕事と経理業務の両立が難しい
- 中小企業以上の企業は、業務の金額も高く、専門家に頼むことが多い
- 税理士に任せておけば大丈夫
- 経営者は事業に集中できるから

【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 管理がやはり難しい
- 一人親方も多く、そこまで煩雑ではないから
- 売上や使った経費は計算して最後の申告を依頼
- 経理作業に多くの時間を割くと、経営や現場業務に支障が出るため
- 分からないことだらけなので領収書だけまとめて税理士に丸投げがこの業界では多い

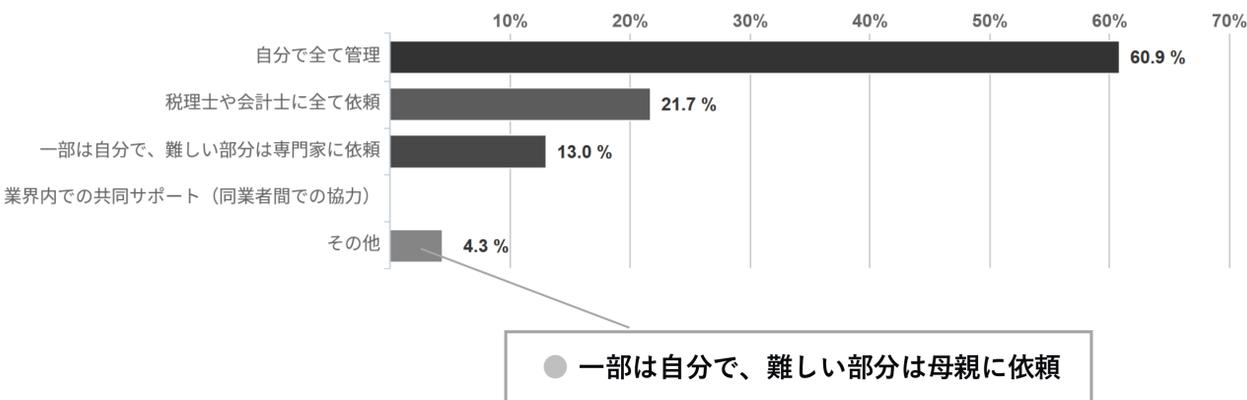
【自分で全て管理】

- 会計ソフトがある
- 単純に人がいないし人にやってもらう程の量がない
- 税理士に頼む費用もないので自分でできる知識が必要
- 業界的に単価が安い為、税理士などに頼む余裕がない

【業界内での共同サポート（同業者間での協力）】

- 自分では、難しいので同業者に頼んでいる
- 分からないことは知識のある人に聞く

運送業



【自分で全て管理】

- 個人で運送をしている方は周りに聞くことはあんまりない
- 宅配業界の個人事業主ですが、経理はアプリを使って簡単にしている
- 自分で全て経理、税務業務は行なっている
- 税理士に依頼すると費用がかかる
- 1カ月の売上金額が500万前後の業界で売上の仕組みがあまり難しくなくため
- 経費も決まっているので特別に税理士等へ依頼する程でもないし費用もかからない為
- 自分で出来る範囲なので自分で管理している
- 売上規模の大きさ、経理処理の容易さ

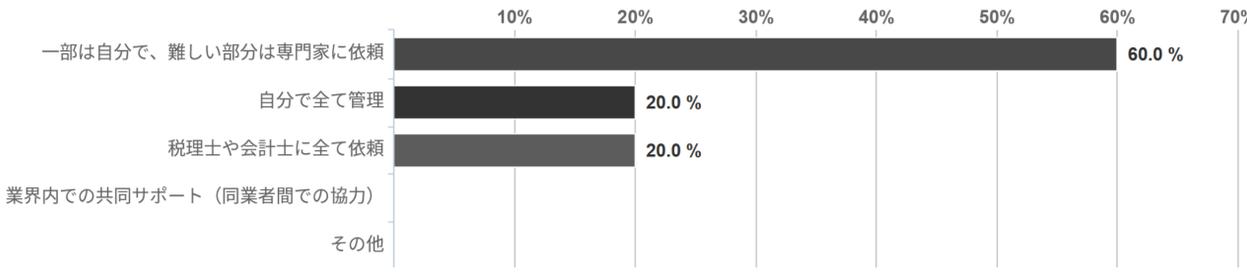
【税理士や会計士に全て依頼】

- 外にでっぱなしなので
- 帳簿作成しても専門家に正しいか判断して欲しいから
- 勉強する習慣がない為に、わからないことは人任せにする人間が大多数
- 複雑ではないので全て丸投げか自分でやるかの2択

【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 複雑な会計処理が少ないので概ね自分でできる
- 月報を提出すればあとは全て会計士がやってくれる
- 業界は関係ないと思うが経理に時間をかけたくないので確定申告だけまかしている
- 基本的に経費の勘定科目が主に消耗品や車両費ぐらいだから

不動産業



【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 青色での確定申告には税理士の力が必要なため、申告業務は税理士に任せるが、日常の経理業務は規模が大きくないため個人事業主が自分自身でやる事が多い
- 費用は出来るだけかけず、責任が伴う専門知識は専門家に依頼すべき
- 専門家に勝る知恵はない

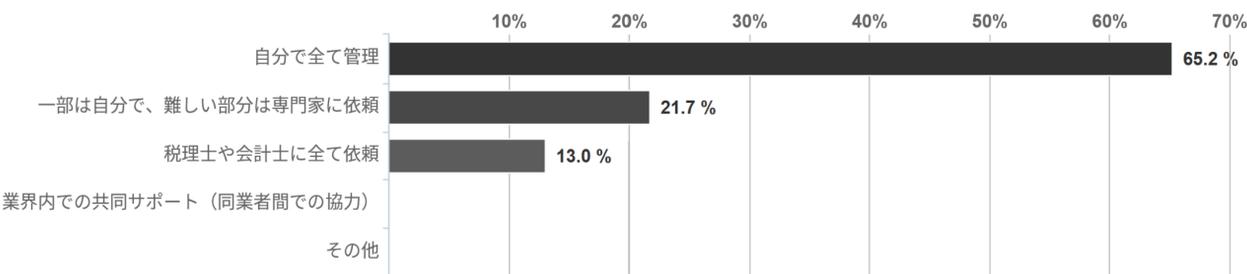
【自分で全て管理】

- 経費をあまりかけたくない

【税理士や会計士に全て依頼】

- 規模の小さいうちは売り上げも少ないので個人で行っている方が多く、ある程度の規模になると費用面の負担もカバーできるので自分の時間を使うより税理士さんにお任せする方が多い

WEBサービス業



【自分で全て管理】

- 取引量が少なければ自分で管理可能
- 専門のところに依頼すると高いのと、経費等が少ないので自分で管理できる範囲だから
- 複雑な税務処理を行う機会があまりないため
- 大きな売上が立つ業界ではないため、税理士など専門家に依頼するほどの規模間ではない
- 会計ソフトに入力すれば大抵はうまく計算してくれる
- 不明点や難しい部分はAIにまかせられるし、サポートツールなどもある
- 売り上げがもう少し増えれば専門家に頼もうと思うが、今は費用を抑えるため
- 取引先が限られているので自分で管理できる
- 自分でやらないと費用のほうがかさみ、意味がない
- 会計ソフトを使用しているケースが多く、収支の管理もシンプルなこともあり、自身でやる人が多い
- 個人の手に負えないほど大きな収入にはならないため、個々で行うことが多い
- 外注コストを抑えられ、収支状況を即把握できるので、自分で管理する人が多い
- ひとりで働いているので、周りから知識を得ている人が多い
- 外部に依頼して経費をかけたくない
- 在宅の個人事業主が多く、費用節減のために自分で済ませようとする人が多いため

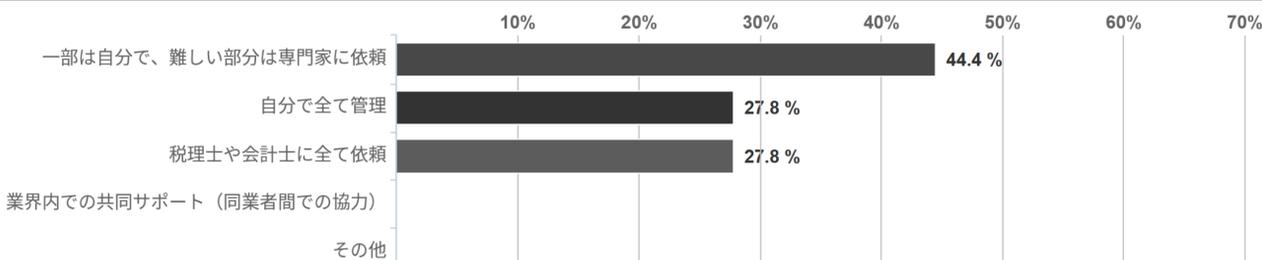
【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 業界においては特に特徴はなく様々だと思う。個人で全てやっている人も多いし、入力のみ個人で行い、確認等を税理士に依頼する人もいれば、全て税理士に依頼している人もいる
- 自分でやれる部分もある
- 税理士さんに提出依頼等されている方は多い
- リモートが多いのであまり人の繋がりが無い

【税理士や会計士に全て依頼】

- 自分の業務に集中するため
- 経理・税務は専門外であり、専門知識が必要なため、非効率を避けるためにも税理士や会計士に依頼する方が合理的

医療業・福祉業



【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 数の多い個人店舗ではなるべく経費を抑える為に、自分でやれる部分に対応している
- 税理士等に投げる傾向が高い
- 顧客対応や勉強なども多いため、難しいところは専門家へ
- 自分でやっている人もふえたが、税理士さんに頼む事が多かった
- より専門的な内容はアウトソーシングする
- 間違い等がないかの確認してもらうため
- 中小企業が多い為専門家に委託するケースも多いが経営者自ら管理する事も珍しくない

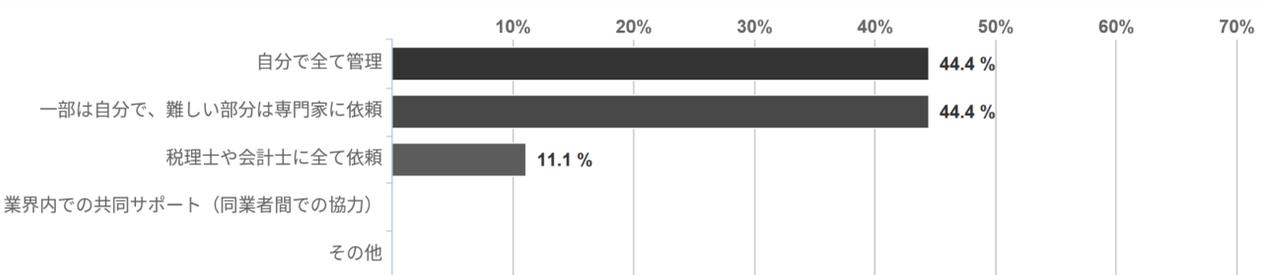
【自分で全て管理】

- この業界は1人でやっている人が多い
- いい税理士に会うことができていない
- 報酬単価は決まってお増やすのも難しい
- 一人経営で税理士にかかる費用対効果はあまり感じない
- 個人事業主のため自分でするしかない

【税理士や会計士に全て依頼】

- 税務関係について勉強する時間がない
- お金に関する知識は乏しいため
- 業務に集中するには丸投げが良い
- 診療の時間を妨げない為にもお願いしてる医院は多い
- 詳しいことわからないので、税理士にお任せ

専門家(士業・FP・コンサルなど)



【自分で全て管理】

- それほど仕分け数が多いわけではないので、自分で処理している人が多い
- 仕入れがないため、ほとんどが通常経費が中心
- それぞれの個人事業主が独立しているため
- 個人事業主でもありある程度知識があれば自分でできるため

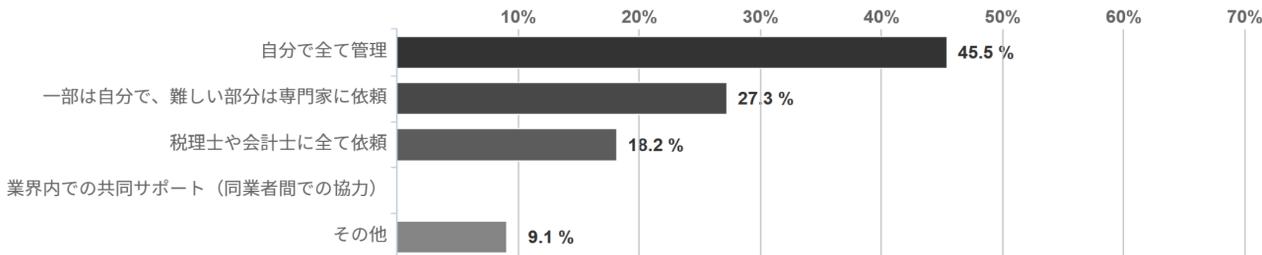
【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 税金税務の深い部分はプロでも難しいので下手に触らない方が良い
- 顧問税理士を雇うことでウィン・ウィンになるケースはある

【税理士や会計士に全て依頼】

- 専門の方に頼むのが一番スピード感があって確実

個人投資家



【自分で全て管理】

- 余計な費用をかけたくない人が多い
- 税理士に依頼するとお金がかかってしまう
- 専門のソフトや専門家を活用し正確に管理
- 個人投資家のうち株式については特定口座にて完結している部分が多い

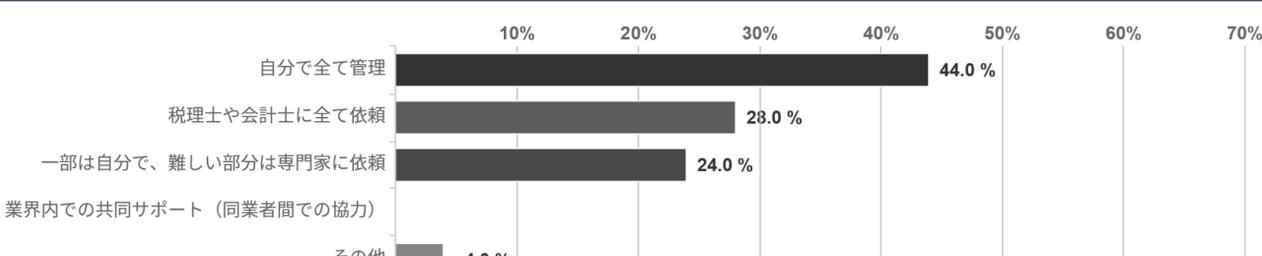
【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 自分では判断できないこと（暗号資産を雑所得と事業所得どちらにするか）を専門家に判断してもらう必要があるため
- 難しい部分は、専門家に任せの方が間違いがないから

【税理士や会計士に全て依頼】

- 株など投資によって税制は複雑になるため
- 自分ではできない

その他



- 自身または自社の経理担当者で行う
- 年始からは妻に依頼

【自分で全て管理】

- 税理士にお願いするほど複雑なものはないため
- 自分で管理し知識の元申告することが1番費用も抑えられるため
- 作業のこと以外あまり余裕がないため
- パターンさえわかればなんとかなる
- 税理士を雇うほどの収入ではなく、横のつながりも薄いから
- 税理士を雇うほど売上げがあるわけではないため
- 小さいサロンの個人事業主が多いため、お金をかけて頼む人は少ない
- 事業規模が小さいため
- フリーランスでダブルワークのため
- まだ全て自分で管理できる範囲内のため

【税理士や会計士に全て依頼】

- 相談できる税理士や会計士やコンサルタントを雇っている
- 自分でまとめるには煩雑すぎるから
- わからない事もおおいので、早い段階から任せている
- 私の周りでは知識ある人がいなくほぼ全て専門家に任せている
- 自分でやっても新しい税法等が出た時にいちいち把握しきれない
- FC本部が提携している部門で管理している
- 時間の節約を意識しているため

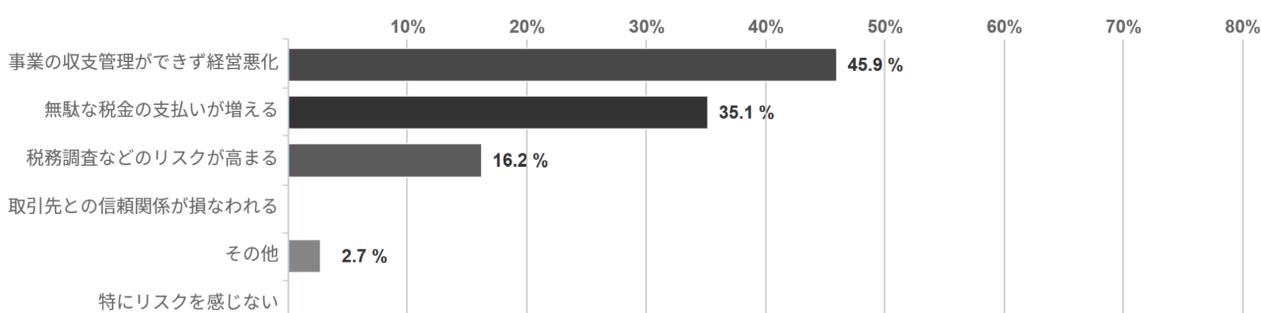
【一部は自分で、難しい部分は専門家に依頼】

- 効率的に業務を進めつつ、専門家のサポートを活用する
- カウンセリングなどの一番必要な事に時間を割き、それ以外は専門家に任せる人が多い
- 経費知識が少ない人が多い
- 知識不足な場合があるため、確定申告など重要なところは、税理士等に頼んでいる人が多い
- 知識は確実に必要だが、複雑な部分はあるので、税理士さんの意見も必要

経理・税務知識不足によるリスク

—あなたの業界で、経理・税務の知識が不足していると、主にどのようなリスクがあると考えますか？

美容業



【事業の収支管理ができず経営悪化】

- 知識不足は無駄なコストが発生してしまうから
- 潤沢とはいえない業種なので常に危機管理を行わなければならない
- 数字がある程度ざっくりとわかっていると倒産する
- 収入と支出とのバランスが分かっていると、知らないうちに資金がショートする可能性がある
- 売上げ（年商）ベースで考えている人が多く、実際の利益に疎い
- 人任せではなく、基礎は自分でしってるほうがいい
- そもそも経理と売上げを把握してないと商売は出来ない
- 毎月の必要な売上がわかりずらくなるので経営に悪く影響する
- 色んな数字の動きを見ていかなくてはいけないので、先読み出来るようにならないと後々大変になる
- 利益を上げないと事業を続ける事が難しいのである程度の管理は必要
- 収支は最低でも自分で管理してわかっていないと色んな選択ができない
- 不要な在庫を購入して必要な物に投資できなくなる

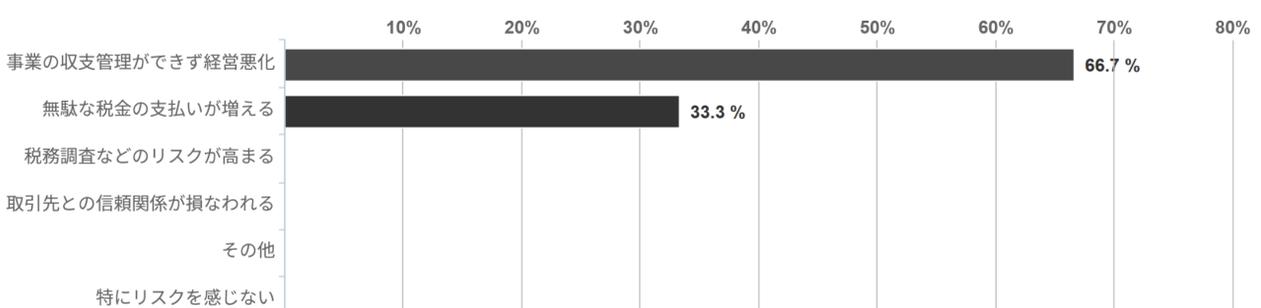
【無駄な税金の支払いが増える】

- 経理・税務の知識が不足しているだけで損することが多い
- 何もわからないので、知識がないと、正解がわからない
- 節税などの知識がよくわからない
- 出費をいかに防ぐかが経営において重要
- 専門家に頼ってない人が多いと知らずに損してる事がたくさんありそう
- 控除の仕組みや経費の内訳など知らないと損
- 節税対策をする事によって税金の支払いを抑える事ができる
- 計上していいものと、悪いものを分けないと、後々面倒なことになる
- 節税の知識がないと売上げ上げても残らない
- 自分で判断するには難しい項目が多いことが問題

【税務調査などのリスクが高まる】

- ずさんな事をしていたら、いざ調査が来た時終わる
- ちゃんと申告してないと調査されるかもしれないし、面倒である
- 何が経費になるかわからないと、脱税になるから
- 売上に対して材料などを消費しない施術もあるため知識不足だと心配がある

飲食業



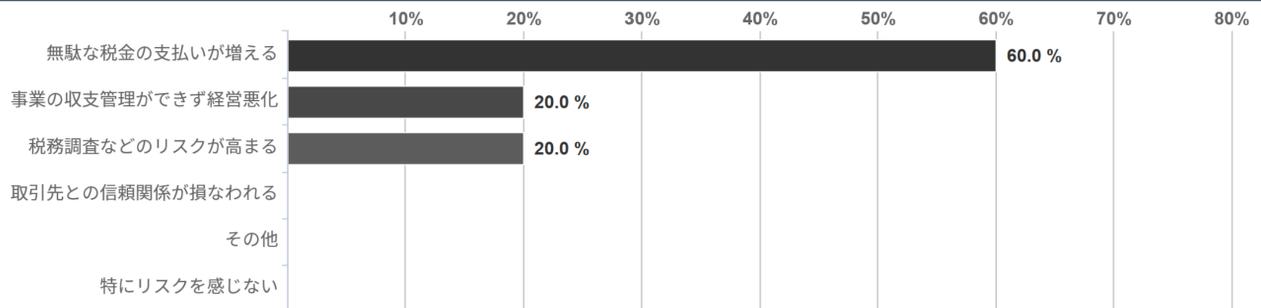
【事業の収支管理ができず経営悪化】

- 利益率が低い上に現金の流れが速い為知識がないと問題が起きやすい
- 毎月しっかり管理する事が重要、売上げが上がったら節税も重要

【無駄な税金の支払いが増える】

- 控除や節税制度を活用できず、納税額が増えるから

小売業



【無駄な税金の支払いが増える】

- 経費で落とせるだけ落として所得を少なく申告する
- 何を経費とできるかを知ることが第一
- 経費について知識をつけることで税金の支払いが大きくかわる

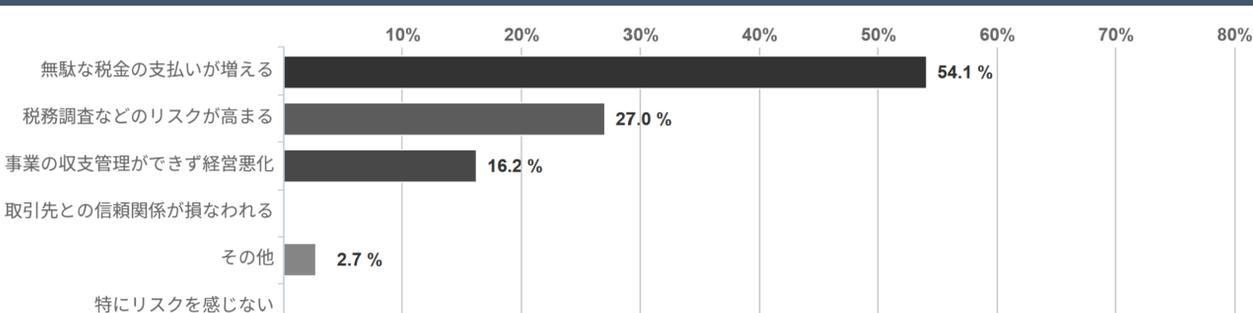
【事業の収支管理ができず経営悪化】

- 薄利多売なので、管理徹底が粗利益に影響する
- 基本的には利益が毎月バラつきがあり、その時に応じる経営不足による悪化は怖い

【税務調査などのリスクが高まる】

- 税務調査の対策等ができておらず、
正確に申告しているつもりではあるが追徴課税のリスクは常に感じている
- 難しい税務処理なので誤りが大きくなりがちである

建設業



【無駄な税金の支払いが増える】

- 税金でとられるなら、うまく経費で対応したい
- 毎年の事なので分からないまま無駄な税金を払う事になる
- 税に対する知識不足が、無駄な支出を生んでいる
- 節税効果を理解していないと無駄に税金を払うことになる
- 経費に出来るものができなかつたりするから
- 節税などの方法など理解していないとそれなりのリスクはある
- 無駄に多くの税金を払うのは絶対にいや

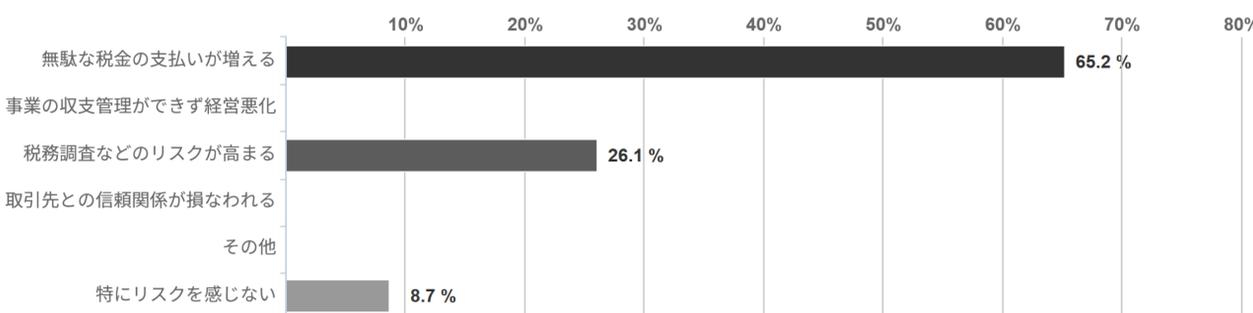
【税務調査などのリスクが高まる】

- 知識が不足していると正確な確定申告が、出来なくなる
- 以前に元請けが税務調査を受けた為、自分に調査も入る可能性があるを知り合いに聞いた
- 取引の記録や帳簿作成でミスが発生しやすくなる
- 売り上げが小規模だと自分で確定申告しがちだが、税理士に介入してもらう方がいい

【事業の収支管理ができず経営悪化】

- 経費をしっかりとやりたいので税理士に頼んでいる
- 建設工事をすれば色々な経費がかかってくるので細かく管理する
- どんぶり勘定で経営してしまうと、急な出費などに対応できなくなる
- 会計処理が正しく行われないと、多くの間違いが税務上の問題を引き起こす可能性がある
- 収支管理が出来てないと利益を確認できない

運送業



【無駄な税金の支払いが増える】

- 節税のためにすべきことがわからないと余計な税金を支払うこととなる
- 払わなくていい税金まではらうことになっていた
- 宅配業界の個人事業主ですが、経費の知識がないと無駄な税金を支払う事になる
- 経費計上をちゃんとしないと税金高くなる
- 節税効果のある経費として計上できることがある
- 業界は関係なく知識がないと無駄な税金を払ってしまう
- 経費を計上するにあたって知識がないと経費の計上モレが発生し税金が増えてしまう
- 同業者が知識が無く、税務署に行って確定申告したら沢山税金を払わされて困っていた
- 税金を多く払っても返ってこないのに特に注意している

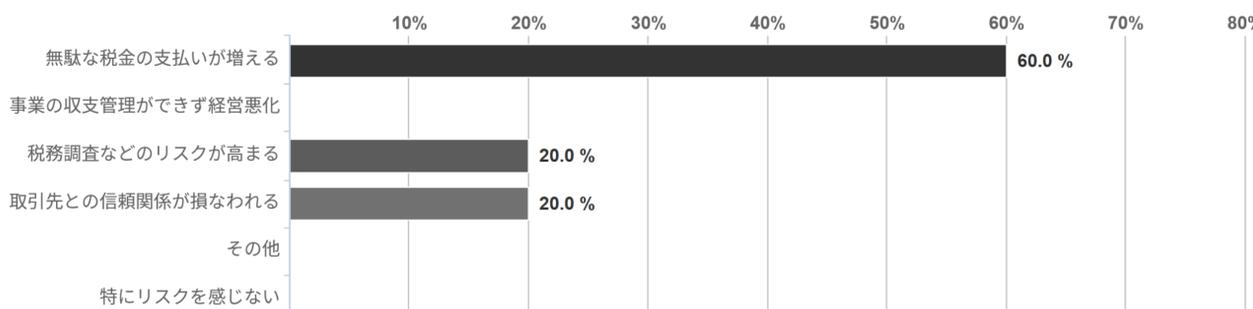
【税務調査などのリスクが高まる】

- 税務調査が来ても大丈夫なように知識は必要
- 最近は、AIが導入されたいので日々しっかりと税務の知識はつけないといけない

【特にリスクを感じない】

- 特に影響はないが、知識はあった方がよい

不動産業



【無駄な税金の支払いが増える】

- 経費にできることを把握しておかないと損してしまう
- 管理区分や節税対策を行っていないと無駄な税額が増え資産形成が遅くなる
- 業界は関係なく知識がないと無駄な税金を払ってしまう

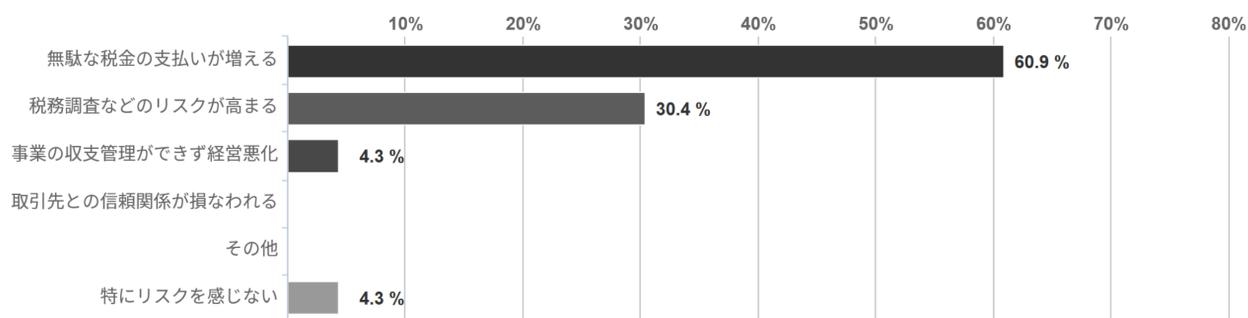
【税務調査などのリスクが高まる】

- 節税の知識がないと意図せずに脱税になっていることがある

【取引先との信頼関係が損なわれる】

- お客様の不動産を扱うので、知識不足がお客様が不利益に直結してしまう

WEBサービス業



【無駄な税金の支払いが増える】

- 払わなくていいもの、節税できたものなどがあるかもしれないから
- 普通に確定申告だけをやっていると、そういう知識は入ってこないから
- 税金の最適化まで考慮して確定申告を行う必要があるため
- 正しく確定申告することが節税につながるとともに、意図しない脱税を避けられるため
- 知らないことで損をする場面はある
- 少しでも支払い額が減ったほうがビジネスがうまくいくから
- 無駄な税金を出さない程度の知識は必要
- 知識があればあるだけ個人で対策ができる
- 過少申告や控除漏れで税負担が増えたり、税務調査で追徴課税されるリスクがある
- ある程度知識がないと損する可能性がある

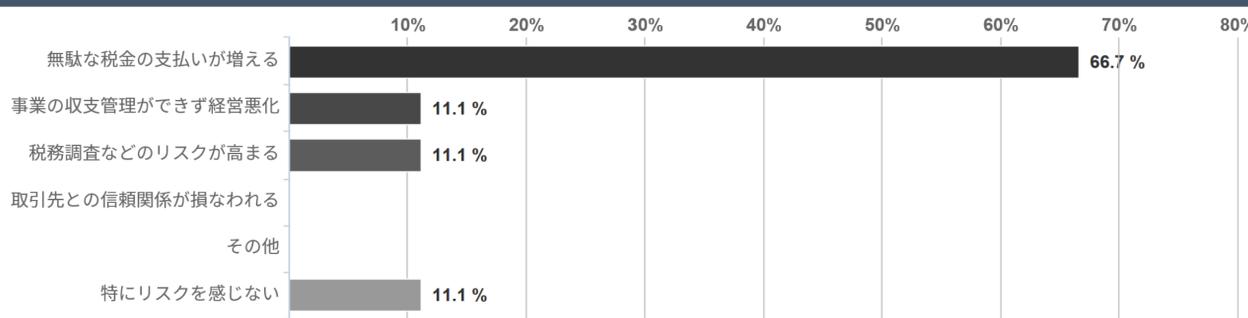
【税務調査などのリスクが高まる】

- 経費かどうか曖昧なものも多く、個人判断だと誤る可能性もある
- ネットの情報は誤情報も多くそのようなコンテンツが検索トップに上がっている事も多いため危険
- よくわからず経費にできてしまったり、入力ミスが増える
- 正しい所得計算や経費計上ができず、納税額が不足する可能性があり、追徴課税や延滞税が課される
- 万が一調査が入った時ちゃんとした対応ができない

【特にリスクを感じない】

- 今までで知識がなくて問題が出たことを聞いたことがない

医療業・福祉業



【無駄な税金の支払いが増える】

- iDeCoや小規模企業共済を知ってるだけでかなりの節税になる
- 控除の正しい処理を行うだけで、税金の額がぐっと減る
- 確定申告の際に還付金を貰えるから。節税になる。
- 売り上げがありすぎて困るなら別だが、なるべく税金を抑え、売り上げを安定させたい
- 経費の使い方や対策が分かっていると、余計な税金を払う事になるから
- 経費の項目次第では損してしまうことがあるから
- 知識の差なので、税金の支払いに直結する
- 無知なことによる無駄な税金を払うことがある

【事業の収支管理ができず経営悪化】

- 具体的に売り上げと利益等の関係を理解していない人が多い
- 制度ビジネスなので売上が限られている為しっかりとキャッシュフローの管理が必要

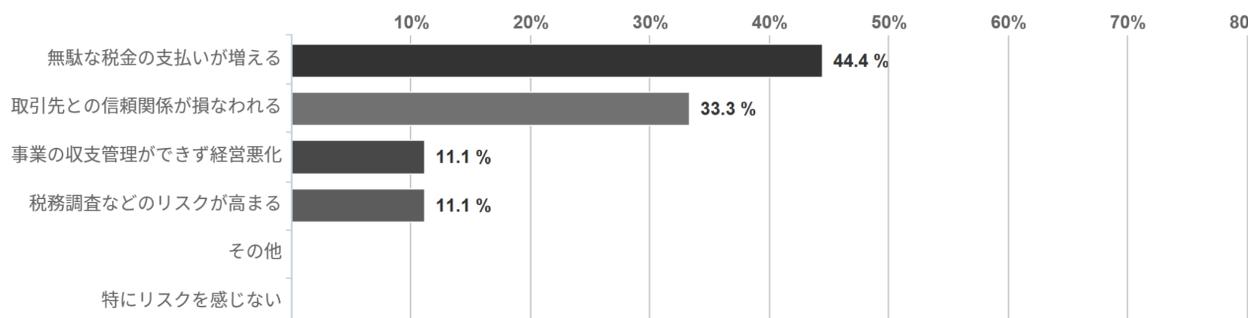
【税務調査などのリスクが高まる】

- 税務調査が入った場合全く対応できない

【特にリスクを感じない】

- 多くの開業医は顧問税理士をかかえている
- 今の働き方においてはあまり関係ないのでわからない

専門家(士業・FP・コンサルなど)



【無駄な税金の支払いが増える】

- 仕入れがたたないため、何もしないとほとんど税金に持っていかれるため、節税知識をしっかり持ち、対策を講じる必要がある
- しっかりと基本的な事を知らないと節税のコツもわからず無駄に税金を支払ってしまう
- 経費計上の上で家賃按分など、専門知識が無いために扱いづらい

【取引先との信頼関係が損なわれる】

- 知識がないと思われた時点で仕事が減ってってしまう
- クライアントは経理、税務の知識があることを期待している
- 顧客もこちらが税務知識があると見ているので信頼関係が大事

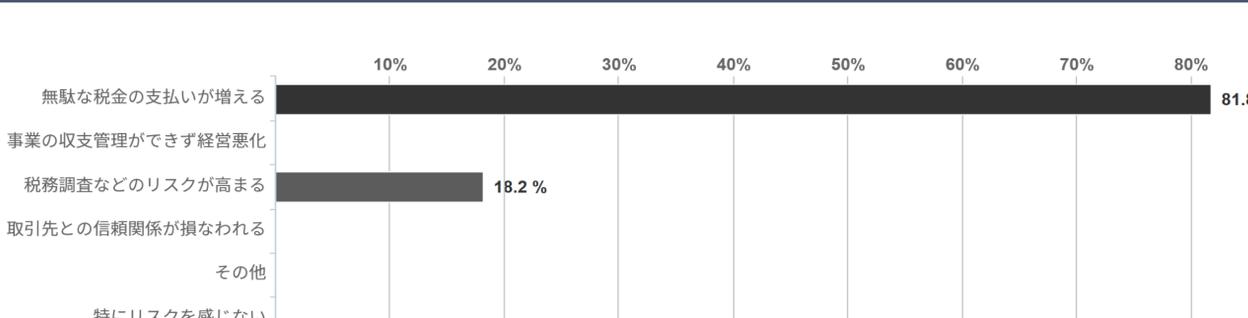
【事業の収支管理ができず経営悪化】

- 経費区分を分からずに従事することで、払いすぎている税金の還付に影響する

【税務調査などのリスクが高まる】

- 私自身は適正に経理を行い、納税をしているつもりですが、いわゆる「見解の相違」により、追徴課税を受けることは絶対に避けたいと考え、厳格に保守的な経理を行っている

個人投資家



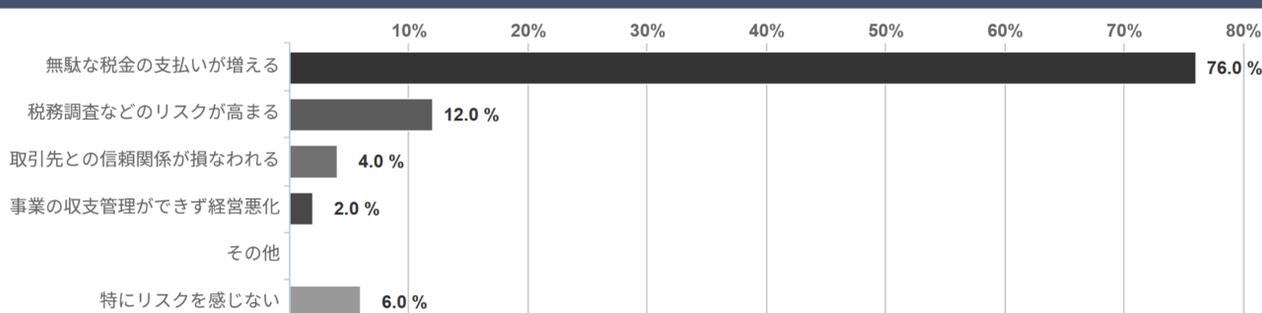
【無駄な税金の支払いが増える】

- 計算方法によっては何千万と損をする事があるから
- 税制を知ることにより、無駄な税金を支払ない事が資産を大きくする
- 暗号資産を日本円に換金しなくても、課税されることがあるため
- 利益に対して経費をいくらまで使うかなど、のアドバイスがないと税金が増える
- 利益確定や損失確定のタイミングを間違えると無駄な税金がかかる場合がある

【税務調査などのリスクが高まる】

- 税務違反や罰則、過剰な税負担、資金管理ミスリスク
- 暗号資産業界は新しい業界のため無申告者も多く国税庁も厳しく調査している

その他



【無駄な税金の支払いが増える】

- 利益を得るために事業活動を行っているので、無駄な出費は避けたい
- 経費計算などは自分で知識を獲得しないと、税負担の原因になる
- きちんと経費で計上しないと税金が高くなる
- 税金を抑えるための知識がなければ支払いが多くなるため
- 合法的な節税ができずに、間違った報告をしてしまう
- 保険募集人は、概して個人事業主である為、税務申告により、直接的に影響がある
- 経費にできる領収書が比較的多いので知らないと損する
- 経費計上の仕方がわからなく無駄な支出が増加してしまうため
- 知っているのと得ることがあるので、知っておく必要がある
- 経費に算入できる項目については知っておく必要がある
- 経費を計上しないと税金がかなりくる
- 節税になる事を知らないとも無駄な支払いが増える
- 税のことを知らないとも節税が上手くできない
- 何が経費として計上できるできないを理解すれば利益も管理できる
- 控除や、減価償却や、経費などの知識がないと余分な税金を払うことになる
- 節税の知識がないため、無駄な税金を支払っている可能性がある
- 経費に入れてもよいものを入れないと収入があがり税金が高くなる
- 経理・税務の管理をしなければ無駄な税金が増える
- 経費に計上出来るものが少ない為、節税に直結する
- アパート経営では、使える経費が限られているので、専門知識が必要
- 経費計上できるものが少ないため、利益や課税対象額に直結する
- 経費の使い方や経理処理の違い等で税金徴収等に影響する

【税務調査などのリスクが高まる】

- 経費の項目についてもそこまで多く使えないので金額や割合を間違えると調査のリスクが高まる
- 経理・税務の知識が不足すると、税務申告や記帳にミスが生じる可能性があり、税務調査や罰金などの法的リスクを招く可能性がある
- 売り上げが上がると、その分適正に経理計算が行えているのか不安になる
- 申告漏れにより税務調査に入られるリスクはある

【取引先との信頼関係が損なわれる】

- 請求金額の間違いや、迅速な対応ができなかったり、様々な対応がスムーズにできることで信頼になる
- 商品を扱う上で最低限の知識は必要である

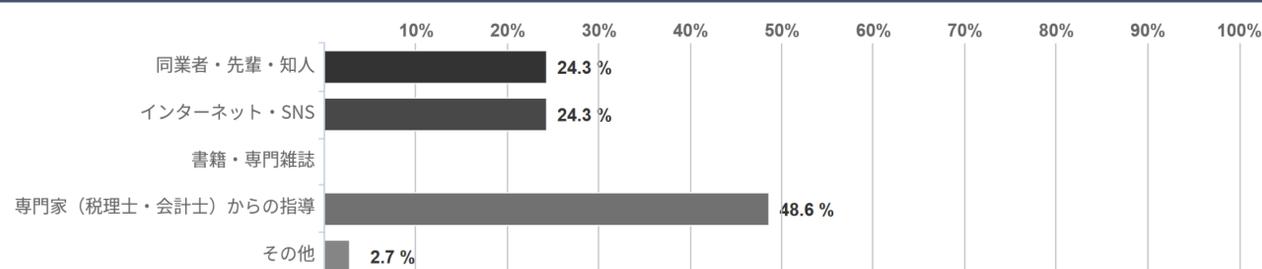
【特にリスクを感じない】

- 仕事内容が経理や税務を覚えているかに全く直結していかないから
- 基本、ちゃんと管理していればなんの問題もない

経理・税務知識を得る機会

—あなたの業界では、経理・税務の知識をどこで得ることが最も多いですか？

美容業



【同業者・先輩・知人】

- 近い存在の人の方が聞きやすいから
- 情報交換がしやすい環境のため
- いろいろ経験しているから
- 業界中で仲良くするから
- ある程度の専門性がある業界なので、同業に聞くのが手っ取り早い
- 同じ立場で共有しやすい
- 身近な人に詳しい人がいる
- 同業者だからわかることがある
- 講習など同じ職種の人と接する機会が多くなるため

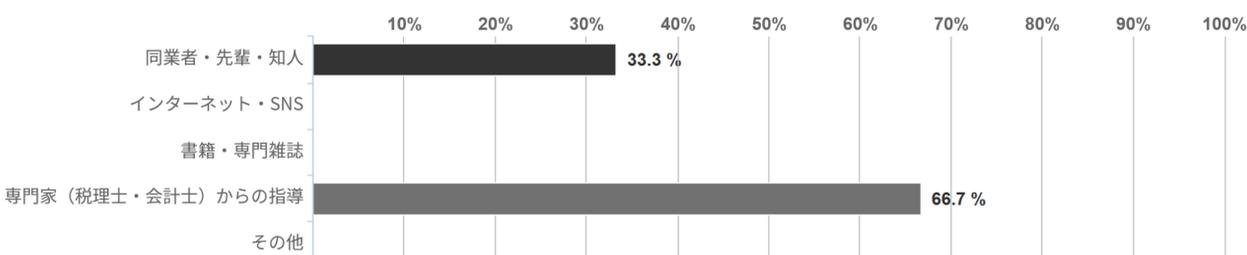
【インターネット・SNS】

- 今の時代は情報が出ていますし、まずはネットで調べる
- 業界でというのは分かりませんが、以前からお金の勉強をする際に見ているYouTubeがある
- 有益な情報を得るための動画がたくさんある
- 便利で少ない経費でかいけつができる
- 業界関係なくインターネットやSNSが情報収集しやすい
- まずは自分で調べる事が大切
- 簡単に調べられる

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 餅は餅屋の理論
- 一番早くて正確
- 要点だけ聞くことができて時間的に早い
- 昔からの付き合いで税理士さんに来ていただいているので税理士さんから直接教わることが多い
- 各専門分野の方に聞いた方がより具体的に聞けるから
- ピンポイントで知りたいことが知れる
- 基本税理士さんにお任せしてる所が多い

飲食業



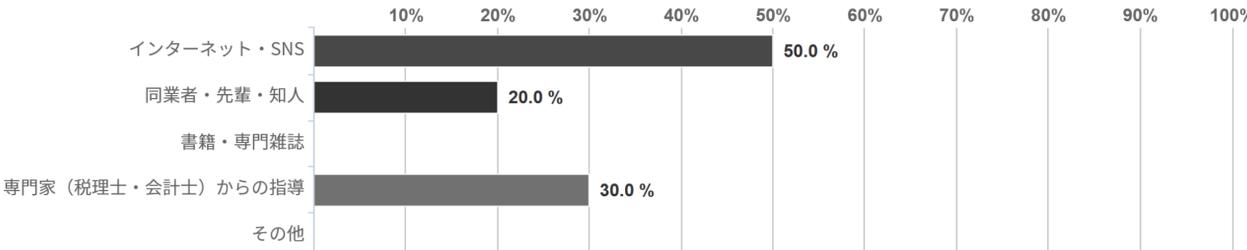
【同業者・先輩・知人】

- 専門家に会うのは 確定申告を進める段階でないと会わない事が多い

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 最も身近ですぐに質問できるから
- 毎月話をしている

小売業



【インターネット・SNS】

- いつでも調べることが出来る
- 今の時代とつきやすいのはインターネット
- 大きい節税を發揮する知識などはSNSでもバズりやすく目につきやすいから
- いつどこでも利用できて、調べたい時に自分が知りたい内容をゆっくり確認することができる
- 業界問わず、ネット検索がより早く情報を手にできる

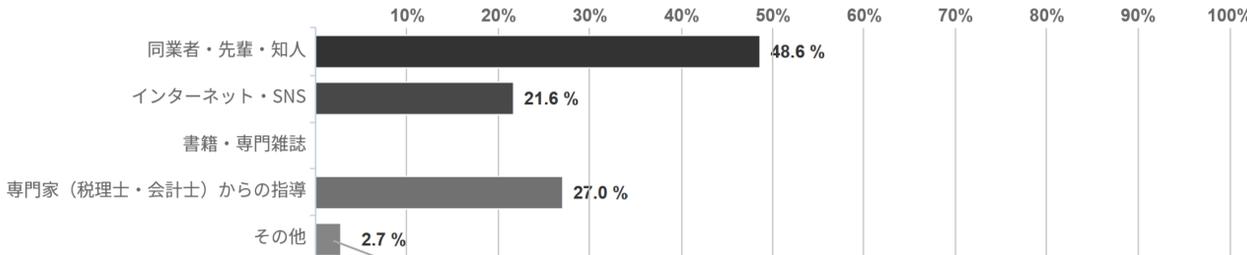
【同業者・先輩・知人】

- 同業者が多い
- 業種が近いと経理税務にも共通することが多く出てくるため

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 顧問税理士がいるところはそうなる
- インターネットではほとんど情報が無い、信ぴょう性に欠ける情報が多いため、同業種の確定申告を多数行っている、税理士からの助言をもらった方が正しい情報を得られやすい

建設業



【同業者・先輩・知人】

- 同業者から税金とか保険代とか結構聞く
- 経験者が教えてくれる
- 紹介するということは信頼があるからなのでいいサイクル
- 同業者の人と話している時に教え合ったりしている
- 業務の中で知識を得ることが多い
- WEBで検索し見たり、読んだりしても難しいために周りの人に聞いている
- 同業者に聞いて一番自分に合った方法を模索できる
- 確定申告の時期になると仕事で一緒になった時に色々聞いたりする

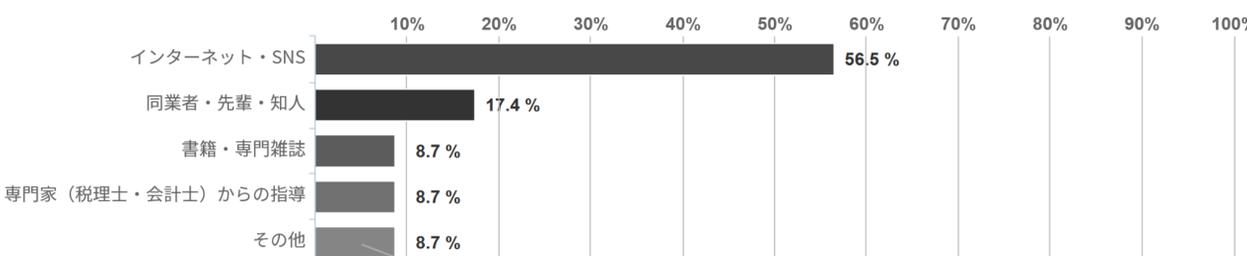
【インターネット・SNS】

- 今はすぐに調べられるから
- 無料で勉強できる手段
- まわりに 税金等のことに詳しい人がいない
- 時間の合間にできる
- 専門用語も多いのでインターネットで調べるのが一番いい

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 専門家に頼む方が安心
- 現場仕事が多忙になると経理業務が疎かになるので、税理士に頼むことが多い
- 専門家に依頼すれば、信用性・業務の簡易化ができ、総務も他の業務が可能

運送業



【インターネット・SNS】

- まわりに知識がない方が多い
- このご時世は書籍を買うよりSNSやネット検索で事が足りるケースが多い
- ネットだったらいつでも簡単に調べられる
- 新しい情報が常に入ってくるから
- 今では片手ひとつ(スマホ)で何でも調べられるから

【同業者・先輩・知人】

- やはり同じ業界だと聞きやすい
- 運送業は個人事業主がほとんどなので、わざわざインターネットなどで調べなくても分からないことはすぐ聞くことができる

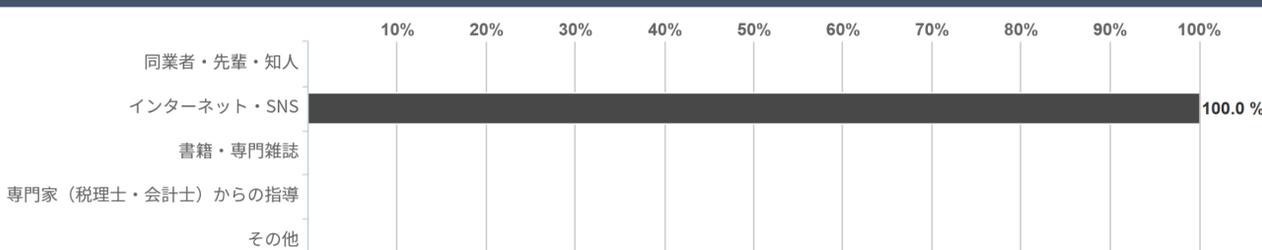
【書籍・専門雑誌】

- 周りに特に詳しい者がいないため、独学になることが多い
- 専門家に指導を受ける時間もなさそうなので書籍等で学ぶ事が多い

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 担当の専門会計士がいる
- 最終的には専門家の知識にたよるしかない

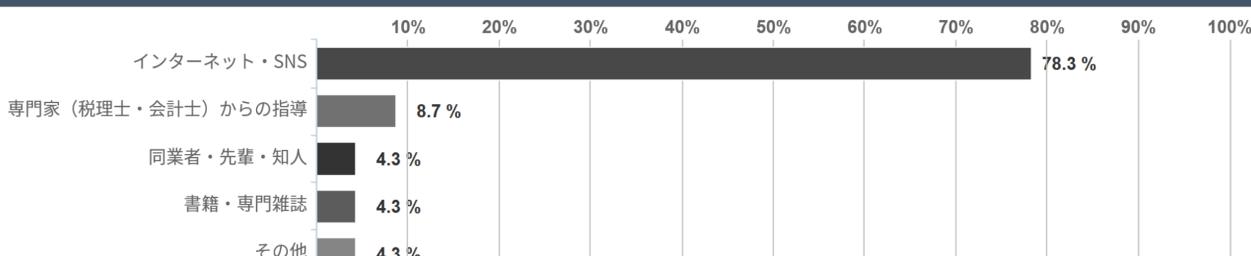
不動産業



【インターネット・SNS】

- インターネットが手軽で身近にある
- 現在インターネットでかなり深い情報や込み入った情報を得る事ができる
- 宅建協会からの情報が信頼できるのでそれをネットから活用している
- 自宅で情報収集が出来るので、手軽で早い

WEBサービス業



【インターネット・SNS】

- 一次情報としてインターネットなどで調べることが多い
- 元々使っている媒体だから
- リサーチも仕事のうちなので、自分でコツコツ調べる人が多い
- 最新の最適化されたシステムで処理を行うほうが効率的
- デスクワークなので調べ物が得意
- 知りたいときにすぐに経理・税務情報を得られる
- 業界的にパソコンは身近にあるため、インターネットで手軽に検索できる
- 横のつながりが太くないため、ネットでの情報収集に頼らざるを得ない

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 税理士に確定申告等を依頼している
- エンジニアは、経理・税務の業務は専門外です。経理・税務の知識を身につけるために、時間や労力を費やすなら、経理・税務業務は税理士や会計士に依頼して、エンジニア自身は自分が抱えている業務に集中する方が合理的

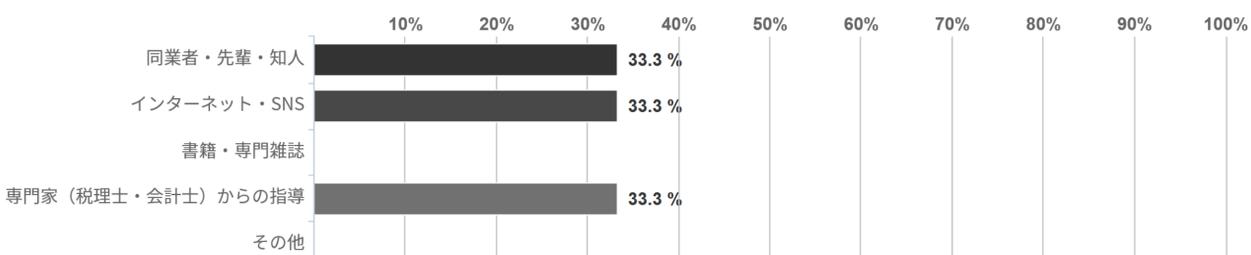
【同業者・先輩・知人】

- 専門家に依頼すると高い

【書籍・専門雑誌】

- 情報がまとまっている

医療業・福祉業



【同業者・先輩・知人】

- 専門家によって考え方がかわるため、同じ職種の人に色んな事聞いた方が考えが偏らないから
- 働いていた院の先輩で独立した人に聞くのが一番手っ取り早いから
- 専門技術勉強会など集まる機会が多く、その時に話題になることもあるため
- 諸先輩方の失敗談や成功経験を聞いて勉強する事が多い
- 気軽に聞けるから
- お互い情報交換が出来る

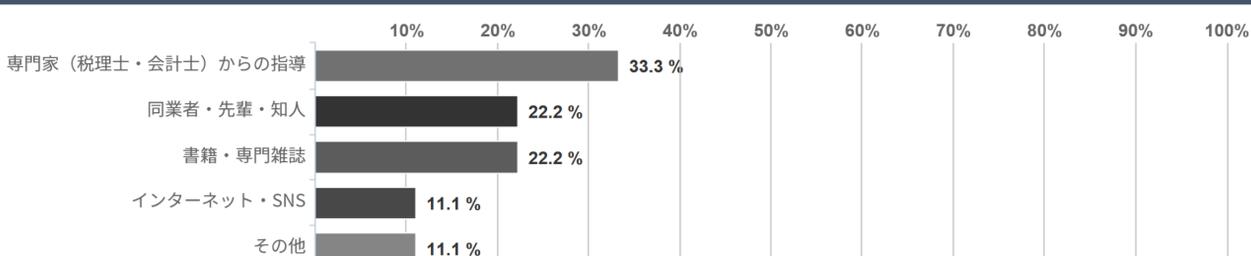
【インターネット・SNS】

- 人に聞きづらいのと分かりやすいから
- 手軽に情報収集ができる
- YouTubeなのでいつでも学べる
- とても手軽にできるから
- 個人事業主だと情報を取る手段がSNSになりがち
- 教えてくれる人がいない

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 書籍やSNSで知識を得る時間がない
- 医療行為に集中する必要がある
- 診療の時間を妨げられたくないなので、お任せした方が良い

専門家(士業・FP・コンサルなど)



- 保険会社セミナー

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 今はネットも多いが専門家との関わりからの方が多い
- 業務分担
- 専門家に聞くのが一番早くて間違いがないので、誰に相談しても専門の方を紹介される

【同業者・先輩・知人】

- 個人事業主同士でのネットワークもある
- そのことについて教えていただける担当者が常に付いているから

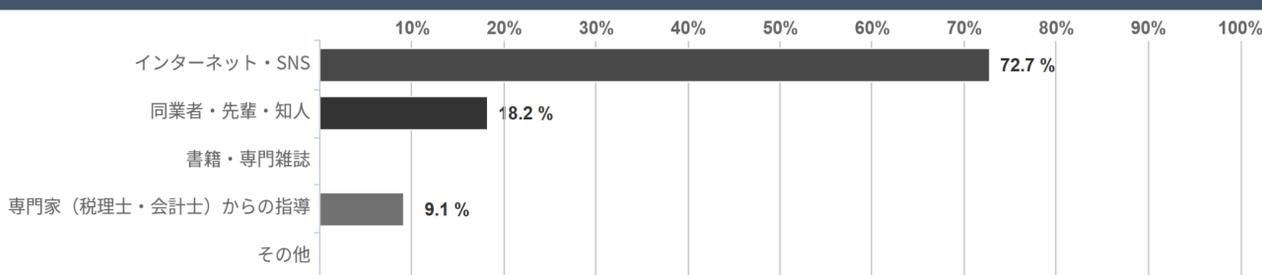
【書籍・専門雑誌】

- インターネットで速報を入手するが、より深い知識習得のためには専門誌の購読が必要
- 手許に資料を残しておきたい

【インターネット・SNS】

- 業種としては、一般的な仕分けとは異なるため、幅広い情報の中から自分に該当する情報を探し出す必要がある。事業税の取り扱いについても、除外対象となる可能性があり、他のケースが一般的な書籍に見当たらなかったため、ネット上で収集した。

個人投資家



【インターネット・SNS】

- 手軽で費用もかからないし、人に聞くと詐欺などもある
- 最新情報が素早く得られ、専門家の解説も充実している
- インターネットによる情報がタイムリーに情報を得られる
- 専門家でもキャッチアップできてないことがある
- リアルタイムで最新の情報が手に入る
- 同じようなことをやっている人との情報交換が役にたつ

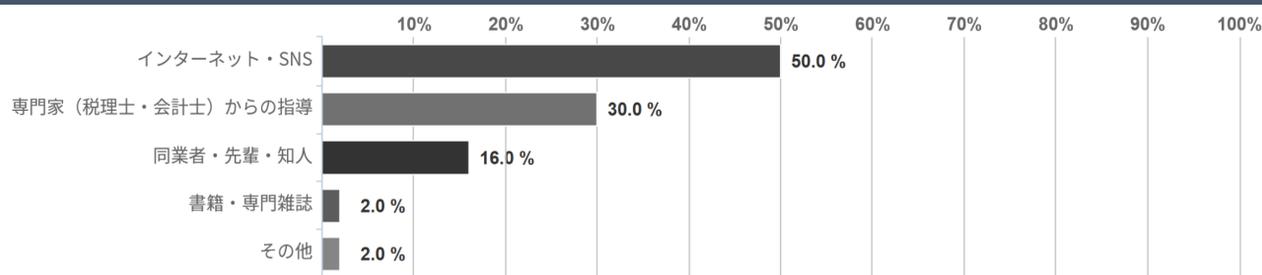
【同業者・先輩・知人】

- 個人事業主としてやっているから

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 自分ではできないから

その他



【インターネット・SNS】

- 技術情報など自分で調べることが多く、経理であっても同じであるため
- 日常的にインターネットを利用しているため
- 空いた時間などを使った手段となるとネットなどがメインになる
- 同業者が周りにいないので聞くことができない
- いつでもどこでも手軽に情報が得られるため
- 簡単に情報が得られるから
- すぐに調べやすい
- 無料で知りたい情報だけ検索できるから

【専門家（税理士・会計士）からの指導】

- 質問事項を会社全体でまとめて説明することが多い
- いろいろな形で税理士にお願いしている人が多い
- 専門家に聞いた方がはやいから
- 周りに知識がある人が少ないから
- 専門的な知識が求められるため、税理士などの専門家から直接学ぶ方が、効率的かつ確実な方法
- 経理処理は大変重要で複雑だから税理士さんの知識が必要

【同業者・先輩・知人】

- 相談する相手がチーム内にしかいないため
- 横のつながりが強い

【書籍・専門雑誌】

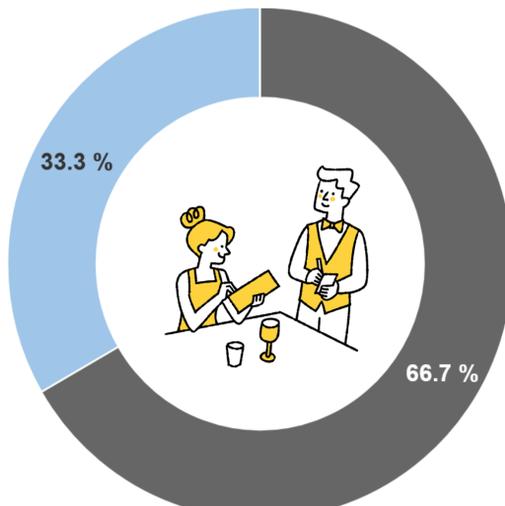
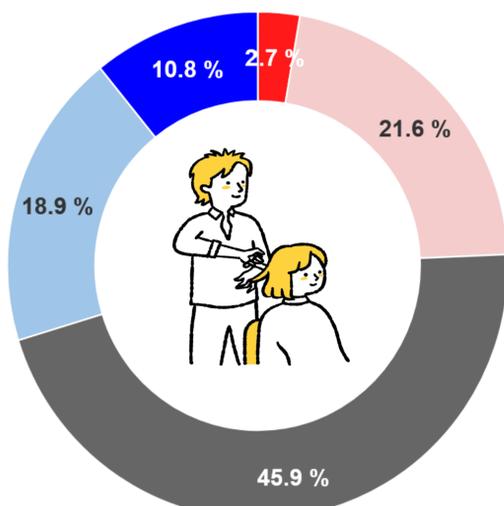
- 知識がないと商品も売れないのでまずは自己学習

経理・税務知識を得るための体制

－あなたの業界では、経理・税務の知識向上を支援する体制やサービスは充実していますか？

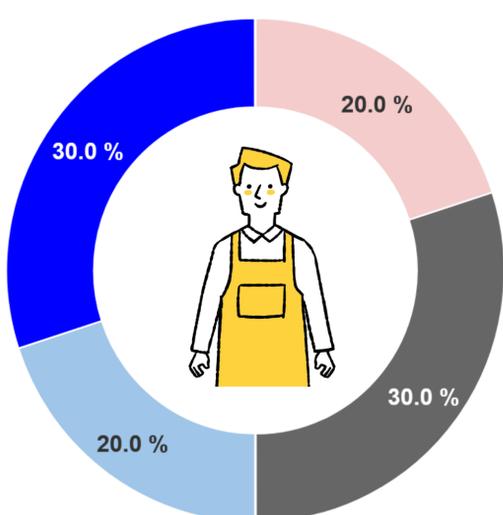
▼ 美容業

▼ 飲食業

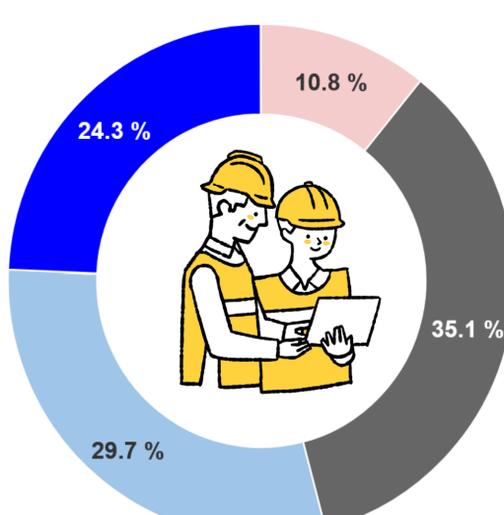


■ 非常に充実している ■ ある程度充実している ■ 普通 ■ ほとんど充実していない ■ 全く充実していない

▼ 小売業

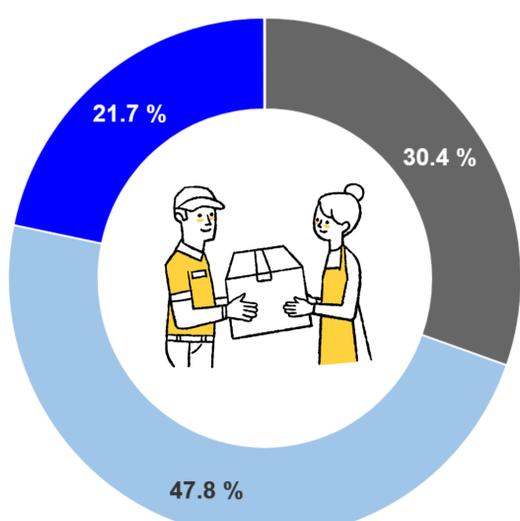


▼ 建設業

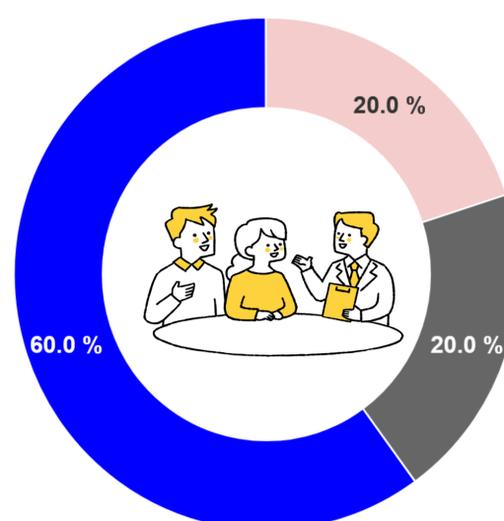


■ 非常に充実している ■ ある程度充実している ■ 普通 ■ ほとんど充実していない ■ 全く充実していない

▼ 運送業

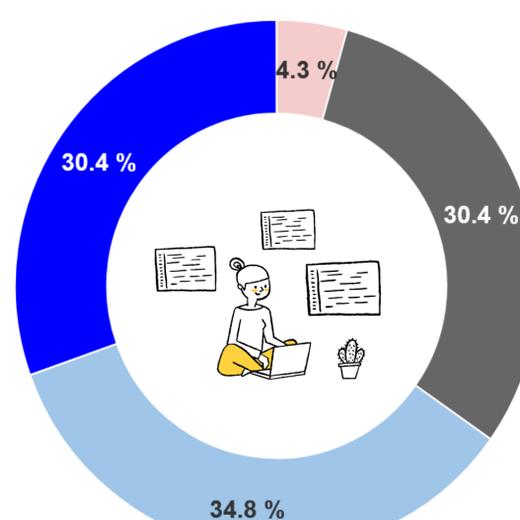


▼ 不動産業

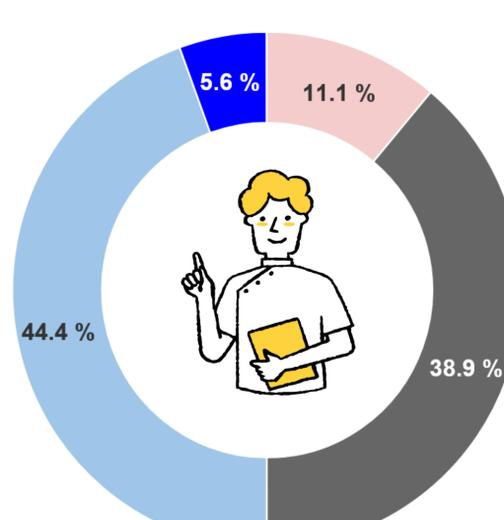


■ 非常に充実している ■ ある程度充実している ■ 普通 ■ ほとんど充実していない ■ 全く充実していない

▼ WEBサービス業

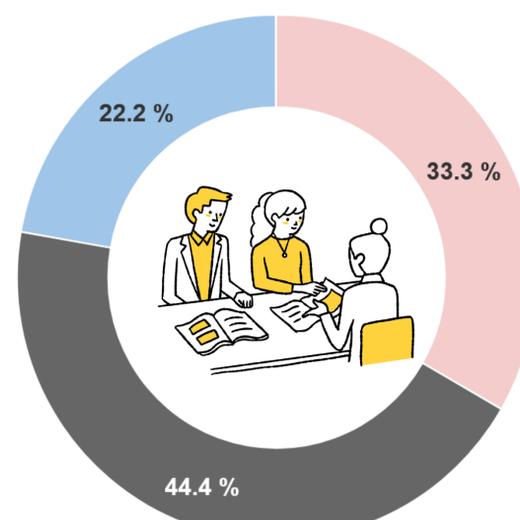


▼ 医療業・福祉業

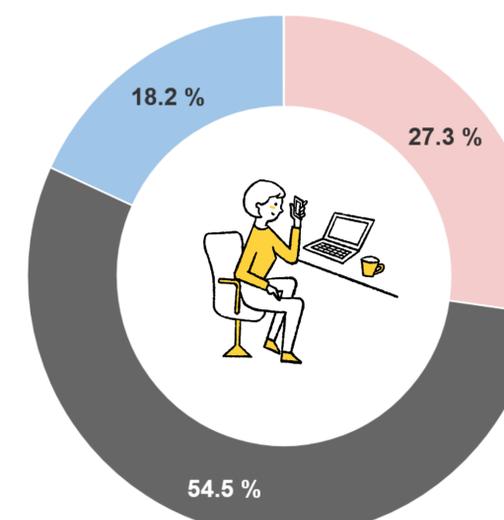


■ 非常に充実している ■ ある程度充実している ■ 普通 ■ ほとんど充実していない ■ 全く充実していない

▼ 専門家(士業・FP・コンサルなど)

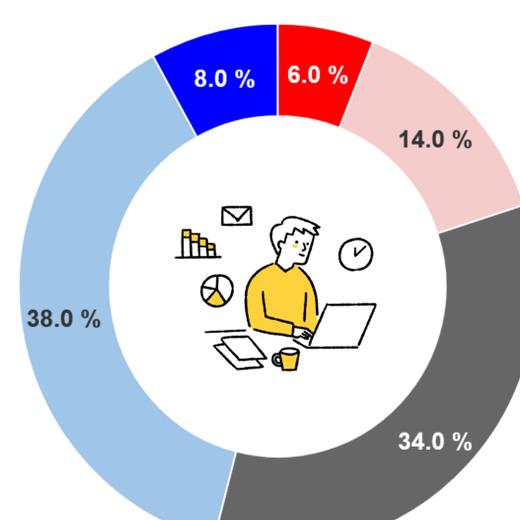


▼ 個人投資家



■ 非常に充実している ■ ある程度充実している ■ 普通 ■ ほとんど充実していない ■ 全く充実していない

▼ その他

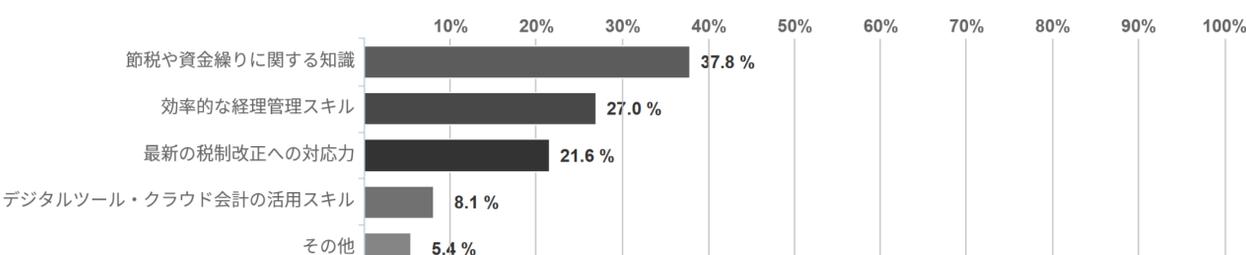


■ 非常に充実している ■ ある程度充実している ■ 普通 ■ ほとんど充実していない ■ 全く充実していない

今後求められる経理・税務スキル

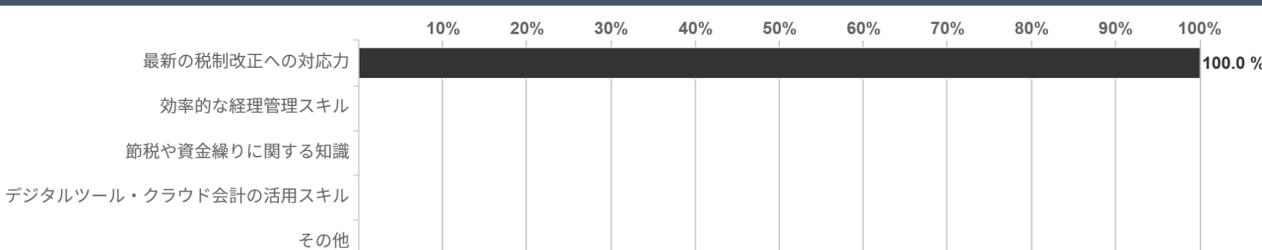
—あなたの業界において、
今後特に求められる経理・税務のスキルはどのようなものだと思いますか？

美容業

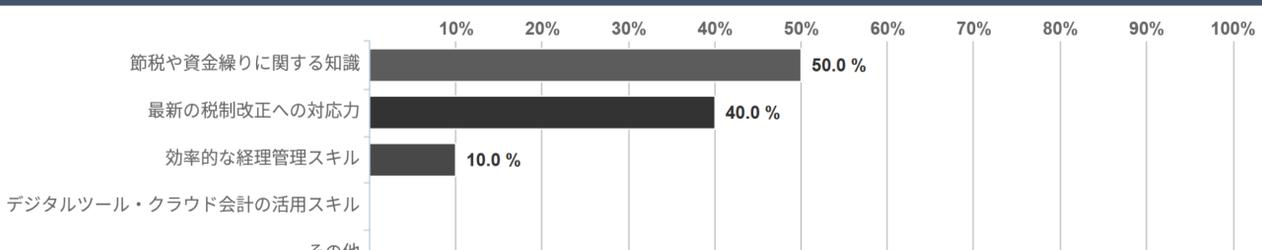


● 税を簡素にすること

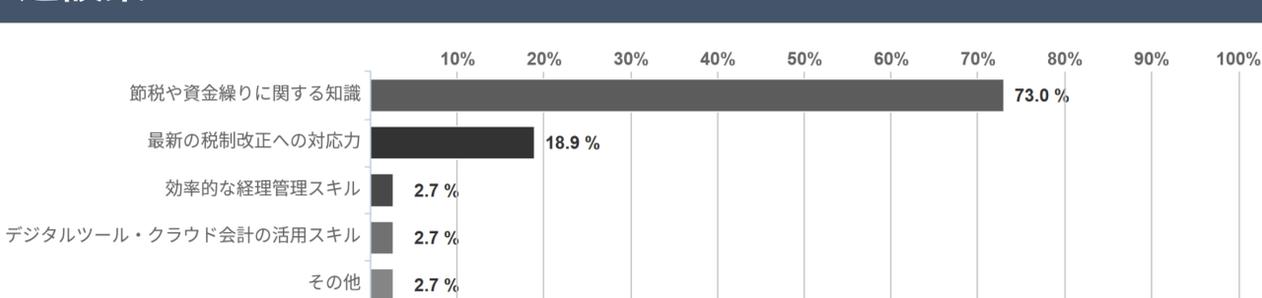
飲食業



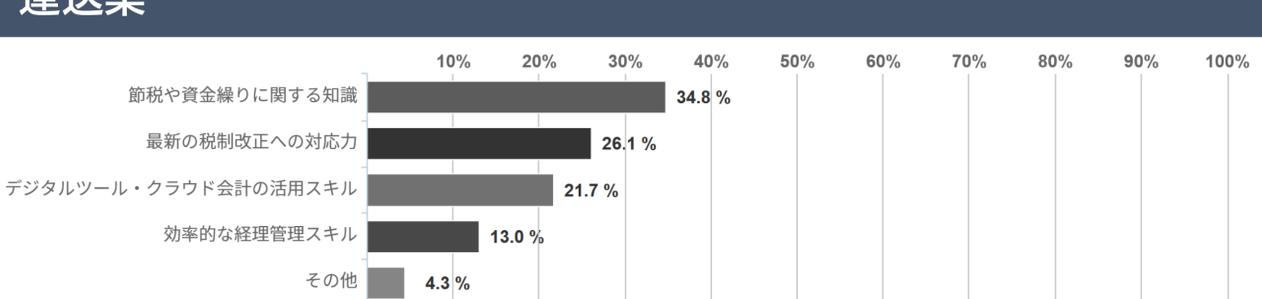
小売業



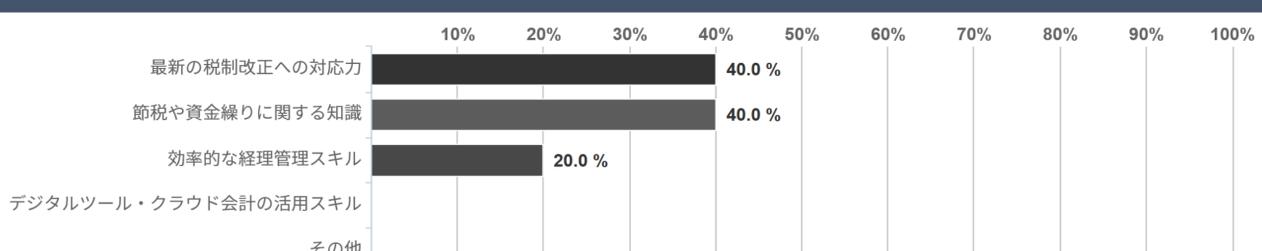
建設業



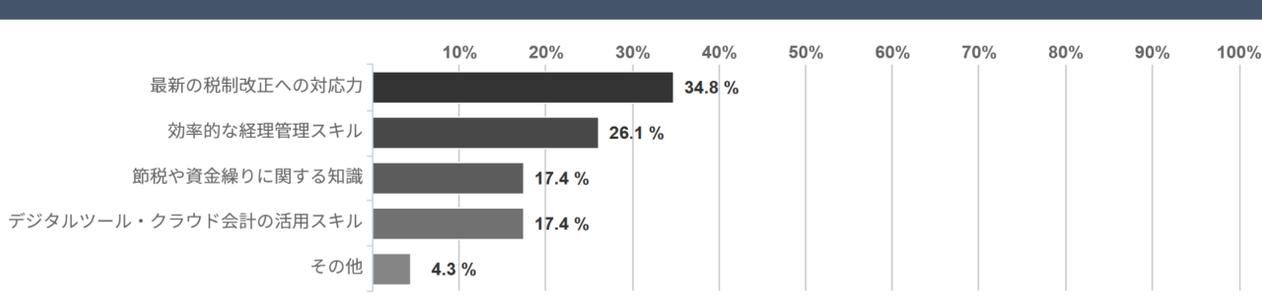
運送業



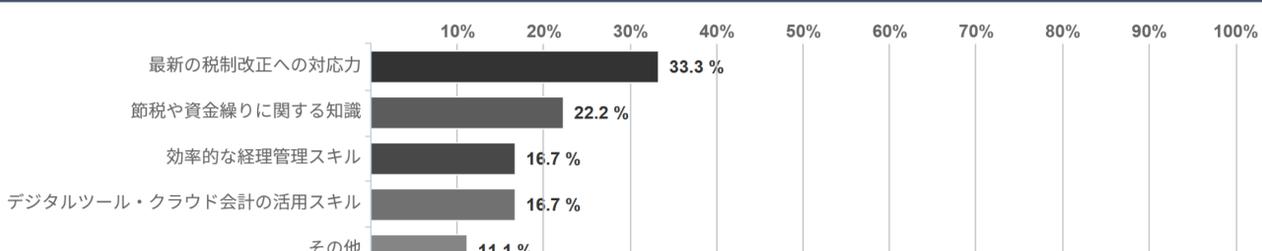
不動産業



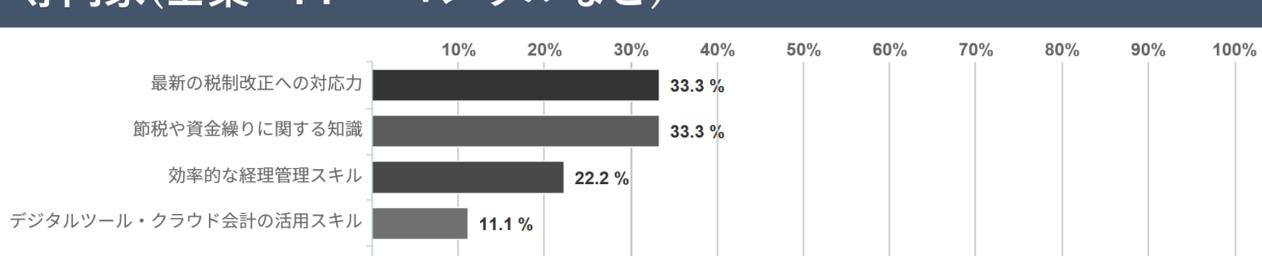
WEBサービス業



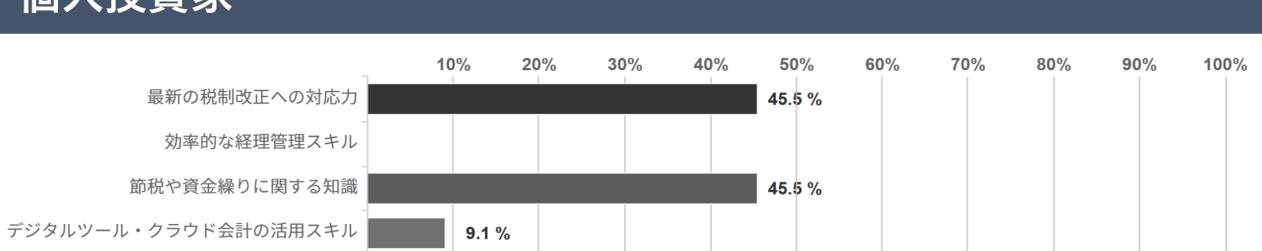
医療業・福祉業



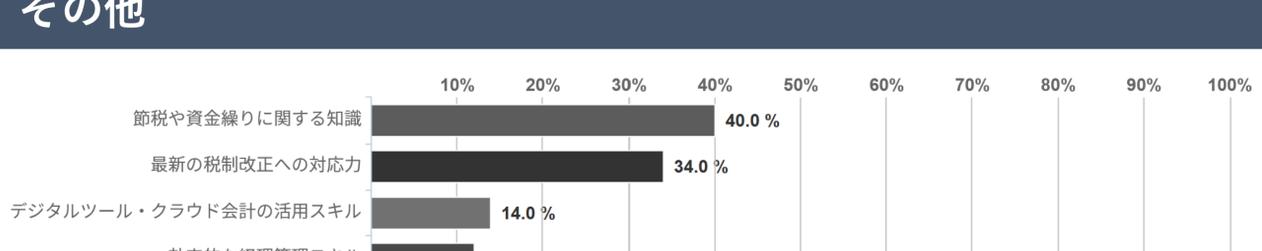
専門家(士業・FP・コンサルなど)



個人投資家



その他



業界ならではの経理・税務の課題

—あなたの業界ならではの経理・税務の課題や問題点を教えてください。

美容業

- 税制の理解度
- 接客や業務のことと同時に経理のことを考えないといけない所が大変
- まだ知識が不十分な部分もあると思うので、専門家に依頼することが必要
- いろいろな、補助金や、経費、が複雑で困惑している人がおおい
- どこまでが経費になってどこからがダメなのかな境目がわからない
- 損益分岐点を如何に理解してやっていくことが大切であり必要
- 税制改正などの情報に疎いと思うのできちんと情報を得る事が課題
- 節税はどのようなことが節税出来るのか理解していない人が多い
- 節税に繋がる経費が少ない。接待交際費や経費も実務に繋げにくい
- 技術だけで、経理の勉強をしてる人が少なく、専門家にたよりすぎてる
- 消費税の納付の方法や仕入れ控除など、税制の理解が不十分なところ
- そういう知識を勉強する機会が全くなく技術ばかり勉強している
- 個人事業が多い分、自分でするひとが多く申告のもれ、節税の仕方がわからない人が多い

飲食業

- 現金取引が多く記帳漏れが発生しやすい点や、食品ロス管理と経費計上のバランスが難しい
- 売り上げが現金、クレジット、QR決済と混ざっている為管理が複雑
- 消費税など、売り上げと別に管理する必要がある間違って使っていると翌年大変

小売業

- 売り上げで税理士を雇うか売り上げ少なかったら自分で全部やらなければいけない
- 小売店は利益率の大きな商売ではないので、税務に関する経費の負担が大きく感じる
- 取引先が多いため、インボイスの処理が煩雑で大変になっている
- 税務知識の不足による時間と利益の損失
- ネット販売なのでビジネス自体は1人で回すことはできるが、確定申告時期はやはり皆苦労している
- ネットショップをはじめとしたネットビジネス業に強い税理士が少ない

建設業

- 節税を学びながら税金を払い過ぎないよあに知識をつけたい
- もう少し楽にまとめられるように会計ソフトなどを利用して負担を減らしたい
- 経理的な事とか税金の事とかもっと分かりやすく簡単に出来る用になってほしい
- 現場仕事をこなして行くのに材料を購入したり応援で人を呼んだりで色々と事務仕事が多い
- 税務に対する知識不足もあり、確定申告等は大雑把や適当な人が多い
- 確定申告の、税控除関係の申請方法の勉強を、自分でしなければならない
- 節税できる事がまだまだありますが知識不足の部分が沢山ある
- 周りに同じような業務形態の人が多く、知識も少ない
- 建設業なので、いろんな形の工事があるので、管理など細かくしないと利益に繋がらない
- 個人事業主は全て経営から経理までしないといけないので負担がかかる
- これは経費として計上出来るのかという解釈が曖昧になることがある
- インボイスや電子帳簿保存法など分かりづらい
- 毎月の資金繰りが大変であり、経理が難しいのが問題
- 基本的に1人でやっている為仕事で遅くまでやってから経理などをやっている時間がない
- 詳しい人が周りに少ない
- 建設業界では仕入れ先が多い為に、仕入れや収支などを明確にする必要がある

運送業

- 経理や税務は全く無知なため、専門の人に委託するか、人に知識を教わる
- 税務の課題としてはぎりぎりになってから事務作業をするため普段から出来る環境を整える
- わからないことだらけなのでもっと透明化して欲しい
- 軽貨物配送業は長時間労働が多く、経理や税務の知識を得る時間が作りにくい
- 業務で車を利用しており、車に関係する経費項目の基準があいまい
- フリーランスとして、健康保険や年金など普通に払っては立ち行かない部分がある
- 税制改革が行われた場合など、速やかに教授して頂ける体制が有れば良い
- 経理税務に対する意識向上と経理税務知識の習得、会計ソフトの導入
- 相談する相手がいないのでネットなどで自分でしか勉強が出来ないため独学があっているか不安

不動産業

- 一人ひとり個別で動いているので、他のひとのやっていることが参考にならないケースもある
- 個人事業主が自ら進んで経理や税務の勉強をしようと意識を高くするかが課題
- 減価償却費の計算方法が複雑であることが納税方法の煩雑さにつながっている
- 多くの不動産オーナーの場合、次世代への相続対策が大きな問題になっている

WEBサービス業

- どこまでがグレーでどこまでがホワイトなのかの線引きや、気をつけるポイントがわかりづらい
- 税金や経理の話題を積極的にする風土がないため、知識について個人のスキルに依存する傾向がある
- 独学メインであるため、最新の情報はなかなか入りづらく、アップデートまでに時間を要すること
- 法制の変更情報を常に収集し、ルールを理解をしなければならず、負担が大きい
- 知識不足により、帳簿付けや確定申告に時間がかかり、本来事業に使える時間を浪費してしまう
- 取引先が複数ある場合は、条件が異なるので自己管理が大切になる
- 経費が少ないケースが多いため、節税が難しいケースが多い
- 横の繋がりが少ないため、必要な知識が入りづらい
- 収入が不安定で経費の幅も広いため、適切な帳簿管理や税区分の判断が難しい点
- 全体的に経理・税務の知識も関心も薄く、制度改正等に対応できていない

医療業・福祉業

- 数ヶ月後に入金される売掛金が多いので、返戻などがあった場合に数字を間違える事がある
- 個人事業主の場合、確定申告時の経費計上が適正かどうか問題になる
- 医療に精通した税理士が減少すると非常にまずい
- みんな日常の業務で忙しくしすぎている
- 常に最新の情報にアップデートでき、それをしっかりと使いこなせること
- 他店舗になったり、従業員を雇うようになれば経理・税務の管理を外注するべき
- 機械一つ購入するにも高いので、補助金はないかなど専門家から教えてもらい活用しないと損をする
- もっと知識を学ぶこととほかのツールや専門家に聞いたり教えてもらう

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- わかりやすい法整備
- 特殊な業界のため、一般書籍の情報が全く役に立たない
- 税務調査により処分が下ると業界団体からも処分がなされ、信用失墜になること
- 今後、法人を対象にする場合は経理、税務関係が必須ですので職員は全員学ぶ必要がある
- 知識がある人が少ないので結局専門家頼りになること。経費がかかる。
- 個人事業主として経費となるものが少ないため、その中で何を経費計上できるかという知識

個人投資家

- 一括で資金管理をしてくれる代行業者がいると税金面まどの煩雑な処理をお願いできる
- 価格変動が激しく評価が難しい、税制が不明確、記録管理の負担が大きい
- 個人投資家としては株式等の利益の税制改革について問題
- 税制が複雑すぎるため素人だけでやってしまうと適切な納税が出来ないことがある

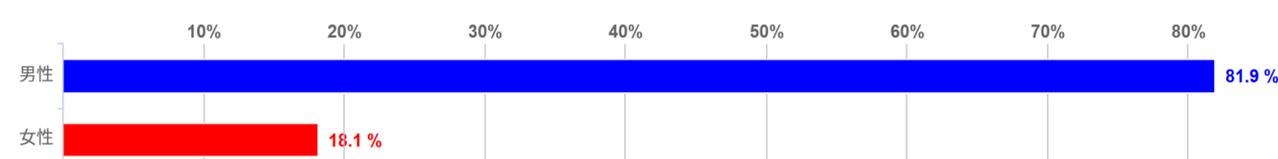
その他

- 経費に入れられるもの、基い経費率が多くないため、節税が難しい
- 完全な個人事業主ではないため、個人事業主や給与者それぞれの経理と税務知識が必要になること
- 主にリモートで業務を行うため、データの管理や保管が課題
- 色々なものが経費として計上できることが多いためそれを知ることができるようになりたい
- 消費税課税業社になると、それ以前と比べ労務の負担が増えること
- 支出の項目の判断

- 部材価格の高騰の割に仕事の単価が上がらないから如何にして仕入れを安くするのが肝心
- チームに専門の税理士をつけて欲しい
- ある程度の知識を要しないと税金がすごい来てしまう事
- 一人親方が多いので、みんなあまり知識がなく、知識を学ぶところがあまり無い
- 日本語でも複雑な税の仕組みを外国人従業員に向けた年末調整などの説明が難しい
- どこまでを収入にいれといいのか、境界線が、微妙なものもある
- フリーランスが多いため、自身で知識や申告を行わなくてはいけないこと
- 経理、税務は結構変化するので、その変化に随時対応していかなければいけない

本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢

